

大阪府立大学 21世紀科学研究機構大阪検定客員研究員  
平成27年度研究成果報告書

目次

はじめに

高柳 淳一	大阪の「Y字路」～都市景観としてのY字路とその意味～	… 1
辻本 伊織	大阪の坂道研究 無名坂にネーミング第2章人名坂を創設する	… 5
田中 睦彦	大阪を歩く〔京街道編〕～枚方宿・守口宿を中心に～	… 9
行俊 良雄	大阪の通称「〇〇道」の研究	…13
森島 克一	「ゆかり・ならでは・なにわ旅」による大阪ファン創造	…17
藤井 里江	大阪城の庭 大阪の庭	…21
湯川 敏男	忠臣蔵番外編「大坂の段」	…25
小西 豊信	南河内に歴史ロマンを求めて	…29
柳原 信雄	大阪の銀行を巡り大阪の歴史文化を探る	…33
高木 昌之	「“平成版”大阪天神めぐり」選定	…37
村田 幸雄	大阪三十三ヶ所絵馬めぐり	…41

## はじめに

「なにわなんでも大阪検定」を立ち上げるにあたって、私たちは、「大阪を再発見する機会の提供」「大阪を知り、愛する運動の推進」「大阪の都市ブランドの向上」「大阪を体験する機会の提供」という4項目の目的を設定しました。また他都市の検定とは趣向を違えて、検定の受験そのものが「楽しみ」となる「大阪らしい検定」を目指してきました。

2015年度の第7回試験の受験者数は2266名（1級250名、2級556名、3級1460名）、第1回からの受験者は24152名となりました。大阪に対する市民の誇りを再確認する機会として一定の役割を担う事業であると自負する所以です。

また、第7回試験の合格者は1422名、内訳を見ると1級が22名、準1級が21名、2級が211名、3級が1168名でした。全体の合格率は62.8%となり、すべての級において合格率が前年度を上回りました。近年は企業からの受験申込が増加しておりますが、先日、企業を対象に実施したアンケート調査では「社員が大阪に関する知識を習得する手段として大阪検定が役立っている」との声を多く頂戴しました。「大阪の再発見」に意欲的に取り組む企業やビジネスパーソンが増えたことも、大阪検定の一つの成果であると考えております。

さて、「なにわなんでも大阪検定」では2013年度より、1級合格者のなかから選抜を行い、私が所長を務める大阪府立大学21世紀科学研究機構・観光戦略研究所の客員研究員に迎えて、独自に研究活動をすすめていただくプログラムを用意致しました。1年間、大阪府立大学でゼミを実施、各員の問題意識のもとに大阪の地域文化を活かした広義のツーリズム振興策について、独自の研究を展開していただくものです。

本冊子は、3年度目となる2015年度の研究員に参加したメンバーの研究成果をとりまとめたものです。専門家による調査研究ではありませんので、学術的な水準は十分ではないでしょう。ただそれぞれの提案は、1級合格者の方らしく、なによりも大阪の歴史と文化を再評価しつつ、観光まちづくりに活かそうとするものです。「なにわなんでも大阪検定」の成果物のひとつとして、評価いただければ幸いです。

大阪検定企画会議座長  
大阪商工会議所都市活性化委員会副委員長  
大阪商工会議所ツーリズム振興委員会副委員長  
大阪府立大学21世紀科学研究機構特別教授  
大阪府立大学観光産業戦略研究所長  
橋爪紳也

# 大阪の「Y字路」～都市景観としてのY字路とその意味～

高柳 淳一

なぜY字路が研究対象なのか？理由は2つある。1つは横尾忠則氏の絵画「Y字路」シリーズに「Y字路も芸術になるんだ。」と興味を覚えたこと。もう1つは日経新聞電子版(平成27年1月8日付)に「渋谷や代官山、恵比寿などY字路こそが街の懐の深さとなり文化を育てる」といった趣旨の記事があったことによる。「でも、文化を育てるY字路は渋谷や代官山のような東京のY字路だけじゃない。大阪にも面白いY字路が数多くある(はず)。」こう思ったのがY字路を対象に選んだきっかけである。

## 【目的】

大阪や京都は歴史的に東西南北の通りや筋がはっきりした街だ。ただ、そんな大阪にも、もちろん多くのY字路が存在する。御堂筋と新御堂が交わる大きなY字路(梅新南交差点)。梅田のNAVIO前もY字路だ。旧道が新たな幹線道路で鋭角に切られた結果生じた小さなY字路。また、川や水路も「水の路(みち)」と捉えれば、中之島の剣先はとても美しいY字路だ。そんな大阪のY字路を都市景観という観点から探ってみることとした。

## 【内容】

大阪市内のY字路を研究対象とした。府域まで含めるとあまりに対象が多すぎることと、タテ・ヨコが比較的はっきりした街からあえてY字路を探すという趣旨から大阪市内に限って現地を調べてみることにした。調査としては、①地図上である程度あたりをつけながら、②現地でY字路の角地の利用方法、周囲も含めて特徴を確認し、③さらに周辺をウロウロして別のY字路を探す。といったことを繰り返した。

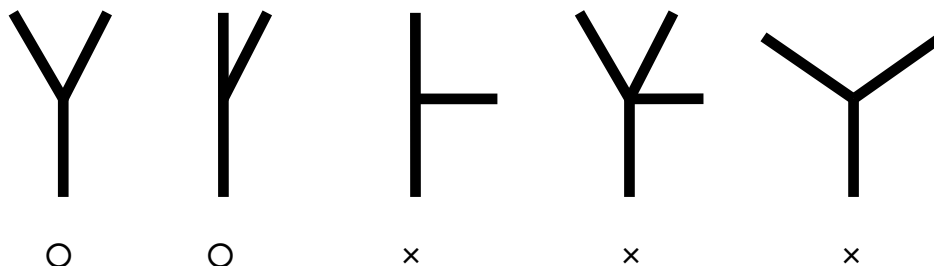
その中から、「大阪(市内)のY字路 100」を選んでみた。ただ、選ぶだけでは芸がないので、今回はY字路により親しみが持てるよう、それぞれに愛称案(基本的には「地名+Y字の角度」)を付けてみた。

## 【結果】

大阪市内にも、小さなY字路なら数多ある。ただ、厳密な意味でのY字路(きれいなY字)は意外に少ないのも事実である。また、やはり大阪の中心・船場地区(田の字エリア)ではY字路を確認しづらい。逆に、Y字路の宝庫は北区や福島区、城東区などである。角地の利用方法としては店舗、特に焼肉屋、寿司屋が多いほか、地藏尊や祠のほか、緑が植えられ、ちょっとした癒しの空間にもなっている場合もある。確かにY字路は商売するには不向きだとか風水的にどうかという話もあるようだ。しかし、Y字路には何かしら「居心地の悪さ」と同時に人を惹きつける「街なかのパワースポット」のような気配があるのではないかと。ニューヨーク・マンハッタンだって基本的にタテ・ヨコの街だが、街の“賑わい”のシンボルが常に「タイムズスクエア」なのもそういう理由なのかも知れない。

## 1. Y字路の定義

世の中にY字路の定義があるわけではないが、T字路や五差路などを含めると対象が拡大してしまうため、今回の対象としては、基本的には「鋭角(90度以下)の角を持つ三叉路」を対象とした(「大阪のY字路100」にも例外はあり)。



## 2. 角度の測り方(例)と愛称案



Y字路の角度は、左右の道路の交わる内角で測定した。

左の写真は北区堂島1丁目のY字路。北新地・船大工通りの分かれ道(「新ダイビル」の北側)。写真では広がって見えるが、内角は20°。平日の夜はタクシーばかりのこの道も、休日のお昼間は健康的な印象。実はこの土地は「国産ビール発祥の地」でもある。

愛称案は「北新地20」。

## 3. Y字路の特徴や由来(例)(Y字路愛称は最終ページの「大阪のY字路100」参照)

### (1) 今里筋の連続Y字路(「中川四 10」「中川六 10」「田島 10」)



中川四 10



中川六 10

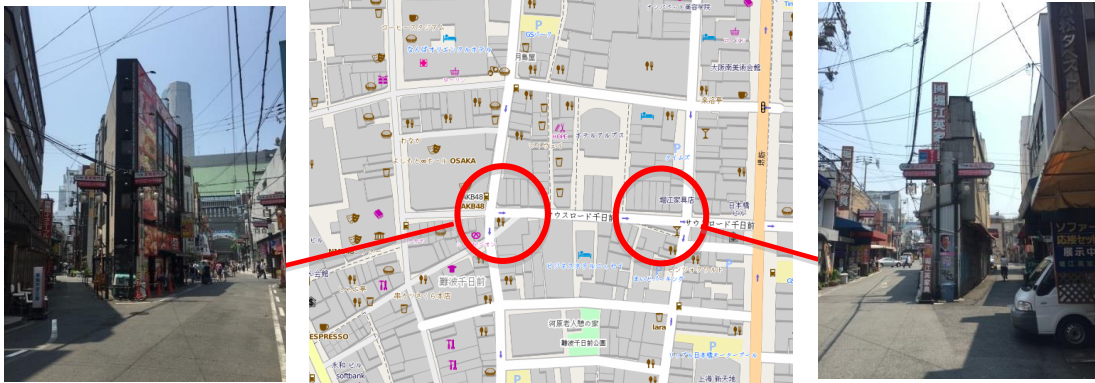


田島 10

上の3つのY字路はいずれも今里筋に沿った生野区内のY字路である。北から順番に「中川四 10」「中川六 10」「田島10」と立て続けに出現するが、これらは南北の旧道を今里筋が少し南西にずれた角度で貫いた結果できたY字路であり、それぞれの角地に祠(地蔵尊)が建てられていることが特徴的である。



(2) サウスロード千日前の2つのY字路（「千日前14」「千日前41」）

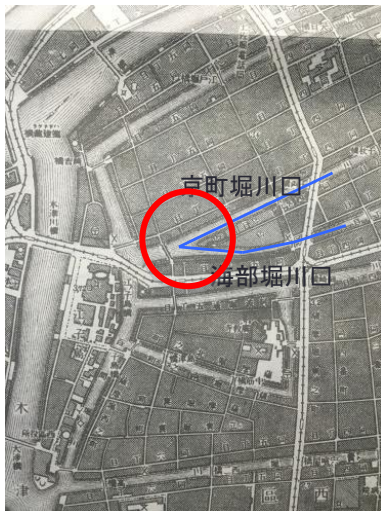


千日前41

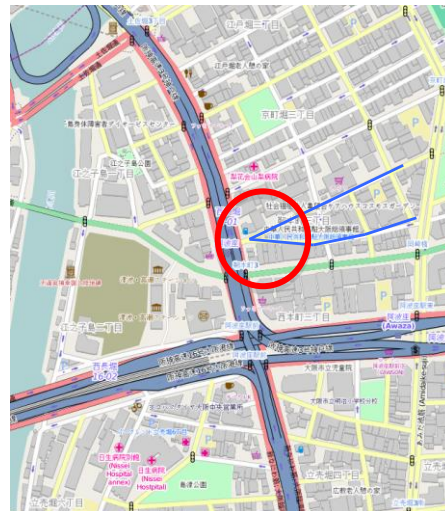
千日前14

上の2つのY字路はいずれも難波 NGK の南側の通り(サウスロード千日前)に向かい合うように隣接するY字路である。いずれもミナミの繁華街らしいY字路であるとともに大正末期の地図ではどちらもY字にはなっていないことから、戦中もしくは戦後すぐの時期に何らかの理由でY字路になったと推測される。

(3) 京町堀川と海部堀川の合流点（「靱本町26」）



大正12年10月  
大日本帝國陸地測量部発行「大阪・中部実測図」



Open Street Map



靱本町26

「靱本町26」は元々、京町堀川(昭和30年埋立て)と海部堀川(昭和26年埋立て)で形成された「水のY字路」であり、その名残が今の「靱本町26」である。また、近隣には駐大阪中国総領事館があることから角地には警察官が常駐し、かなり物々しいY字路になっている。

(4) 蟹島新地への近道としてのY字路（「今橋34」）

「今橋34」は土佐堀通りが東横堀川(阪神高速の真下)で分岐する地点にあるY字路である。江戸初期から今橋は架橋されていたが、18世紀後半、近くに蟹島新地が開設されるとその近道として葎屋橋が架橋された。その後、道路の拡幅などにより2つの橋が一体となりつつY字で別れる形になり、現在のような景観となった。



今橋34

(ご参考)大阪のY字路一覧 100

愛称案	場所	特徴	愛称案	場所	特徴
1 万代7	阿倍野区万代1	南港通沿い。スリムなYには看板のみ。	51 花くじら25	福島区福島2	角は花くじら本店。思わず店名を愛称に。
2 浜口東10	住之江区浜口東2	長居公園通沿い。倉庫の奥は焼肉屋。	52 胎野東25	城東区胎野東2	曲線のラインがどこか優しい印象のY字路。
3 中川四10	生野区中川4	今里筋沿い。角には「北向子育地蔵尊」。	53 放出25	城東区放出西1	25°の美しいY字路。左手には「喫茶三叉路」。
4 中川六10	生野区中川6	中川四10より少し南へ、10°のY字路が連続。	54 十三東25	淀川区十三東1	淀川区役所の近く。角の緑が清々しい。
5 田島10	生野区田島1	中川六10より少し南へ。ここにも祠。	55 靱本町26	西区靱本町3	角地奥に中国大阪領事館。元は水路。
6 都島本通10	都島区都島本通5	角が分難帯でもY字路と呼びたい。	56 肥後橋27	西区土佐堀1	肥後橋の交差点。角地はAPAホテル。
7 瓜破10	平野区瓜破1	府道179号沿い(右)。左の道路はそれと並行。	57 都島本通27	都島区都島本通4	都島本通25と対の関係となるY字路。
8 味原本町11	天王寺区味原本町	閑静な住宅街。近くには高津高校。	58 難波中27	浪速区難波中1	旧歌舞伎座の裏手。飲食店、ホテルが立ち並ぶ。
9 東上町12	天王寺区東上町	玉造筋沿い。	59 夕陽丘28	天王寺区松ヶ鼻町9	夕陽ヶ丘高校の東隣り。
10 玉出13	西成区玉出西2	南港通沿い。建物はマンション。	60 京橋29	都島区片町2	角地の「ジャンカラ」の螺旋階段も面白い。
11 玉造13	天王寺区玉造本町	玉造筋沿い。左手は玉造日の出通り商店街。	61 天王田29	城東区天王田3	天王田15と向かい合うY字路。
12 福島13	福島区福島1	なにわ筋を挟んで、花くじら本店の反対側。	62 天神橋30	北区天神橋1	日本一長い商店街、天神橋筋商店街の南の起点。
13 千日前14	中央区難波千日前	NGKの南側の通り。角の建物は家具屋。	63 新世界30①	浪速区恵美須東1	恵美須町らしい光景。右手は通天閣。
14 新福島14	福島区福島5	福島エリアはY字路の宝庫。新福島駅近く。	64 新世界30②	浪速区恵美須東1	通天閣の真下。新世界は30°と60°で構成。
15 花園南14	西成区花園南1	国道26号線沿い。自転車の看板が魅力的。	65 都島北通30	都島区都島北通1	角地を立体駐車場として有効活用。
16 京橋15	都島区片町2	京阪京橋駅片町口すぐ。角には「二人地蔵尊」。	66 清水30	旭区清水1	京阪千林駅近く。角は米屋。
17 玉造15	中央区玉造1	玉造筋沿い。旧ミタの本社前。	67 中崎町30	北区中崎1	左は都島通。右は大阪環状線、谷町線中崎駅上。
18 蒲生15	城東区蒲生1	京橋駅ほど近く。角は焼肉の「シアン」。	68 中野30	東住吉区中野4	今川沿い。今川は大和川付け替え以前の派流の名残り。
19 境川15	西区境川2	西区境川～港区波除あたりは不思議な街割り。	69 新大阪30	淀川区西中島5	新大阪駅前。
20 瓜破15	平野区瓜破1	瓜破10の北側のY字路。	70 阪南町30	阿倍野区阪南町1	文の里駅の近く。庚申街道沿い。
21 天王田15	城東区天王田3	天王田29と向かい合うY字路。	71 一心寺前31	天王寺区逢坂2	一心寺前交差点。左手に四天王寺五重塔。
22 福島16	福島区福島2	JR新福島の近く。福島島の街はY字路の宝庫。	72 勝山31	天王寺区勝山2	四天王寺のほど近く。
23 北島16	阿倍野区北島1	鉄道と道路のY字路。左は阪塚電車上町線。	73 片町32	都島区片町2	角は小さな緑地帯。左手は京阪線。
24 京町堀16	西区京町堀1	なにわ筋沿い。奥は靱公園。	74 新梅田①②③	北区中津5	梅田スカイビル東隣の公園前のY字路。
25 長居17	住吉区長居東4	あびこ筋と阪和線が交差。	75 新大阪32	淀川区西中島5	新大阪駅前。銀杏並木も美しい。
26 野江17	城東区野江2	静かな住宅街のY字路。	76 今橋34	中央区北浜東5	左は今橋。右は蔵屋橋。頭上は阪神高速。
27 法円坂17	中央区馬場町1	大阪城南側。馬場町は旧法円坂町とも。	77 中川一35	生野区中川1	近鉄線の南側。今里筋にはY字路がいっぱい。
28 京橋18	都島区東野田3	看板裏は大同門。左奥にはグランシャトウ。	78 長池35	阿倍野区長池町2	シャープ本社裏。長池公園の前
29 今市18	旭区今市1	谷町線太子橋今市駅近く。国道1号線沿い。	79 大東町36	都島区大東町1	大東町交差点近く。城北線道の続きの道沿い。
30 崇禅寺19	東淀川区東中島6	右手は阪急京都線。その奥に崇徳浄水場。	80 堂崎36	北区堂崎1	右はJR東海道本線。
31 西天満20	北区西天満3	北区旧町名継承橋が立つ。船首を思わせるデザイン。	81 NAVE1036	北区角田町7	ナビオはポルトガル語で「大きな船」の意味。
32 北新地20	北区堂島1	北新地地大工道の分かれ道。国産ビール発祥の地。	82 九条南37	西区九条南2	すっきりした印象のY字路
33 松屋町20	中央区谷町6	松屋町駅の駅上。左は長堀通。右は階段状の道。	83 中崎町39	北区中崎西1	中崎町らしい場所。工事中なのが残念。
34 市回本町20	港区市回元町1	みなと通近く。シャッターイラストが印象的。	84 長柄中40	北区長柄中3	長柄東交差点近く。
35 中之島20	北区中之島1	天保橋より剣先を塗む。大阪が誇るべきY字(水)路。	85 御堂筋40	北区西天満4	御堂筋と新御堂筋が合流。
36 お初天神20	北区曾根崎2	右はお初天神通り。角は足立宝石店跡。	86 千日前41	中央区難波千日前	NGKの南側の通り。角の建物は焼肉屋。
37 東粉浜21	住吉区東粉浜1	右の高架は南海本線。	87 胎野41	城東区胎野西5	胎野駅の南。角はトヨタカーロー販売店。
38 江戸堀21	西区江戸堀1	土佐堀通沿い。角はTATビル。美しいフォルム。	88 岸里玉出42	西成区岸里2	左は南海汐見橋線、右は南海本線となる分岐点。
39 北河堀22	天王寺区大道1	国道25号線が上下分岐。右手に四天王寺五重塔。	89 江戸堀43	西区江戸堀1	土佐堀通り沿い。角は徐園の中華風の門。
40 北島22	阿倍野区播磨町1	あべの筋北島交差点前。撮影時は建替中。	90 天満44	北区天神橋5	JR天満駅から続く飲食街。角は寿司屋。
41 高倉町22	都島区高倉町1	高倉幼稚園横のY字路。	91 福島45	福島区福島4	阪神線、JR東西線とJR環状線の交差点でもある。
42 野田22	福島区野田3	暮らしやすそうな住宅街に沿ったY字路。	92 相生通45	阿倍野区相生通2	左右の坂道を登ると瀟灑な住宅街が続く。
43 十三東22	淀川区十三東1	淀川区役所のほど近くのY字路。	93 太融寺46	北区太融寺町1	読売新聞大阪本社のほど近く
44 聖天下22	西成区聖天下2	松屋通沿いの緩い坂道。左手奥にはあべのハルカス。	94 眞法院町47	天王寺区眞法院町	府内で最も地価の高い住宅地。Y字路にも気品。
45 下新庄23	東淀川区下新庄3	右の高架は東海道新幹線。	95 曾根崎49	北区曾根崎2	東梅田駅から曾根崎で地蔵を東へ。角は鳥すし。
46 木川東23	淀川区木川東1	淀川の河川敷に近い住宅街の中のY字路。	96 堂ヶ芝50	天王寺区堂ヶ芝2	右手は上り坂。上町台地ならではの光景
47 上新庄24	東淀川区上新庄3	上新庄の交差点近く。角は「SANSHIN衣料」。	97 茶屋町50	北区茶屋町4	ヌーチャヤマチ近く。角は不動産屋さん。
48 堂ヶ芝25	天王寺区堂ヶ芝2	角地は寿司屋。	98 中津54	北区中津6	阪急中津駅前。阪急線から眺められる。
49 都島本通25	都島区都島本通4	都島屋内プールの真横。	99 OBP59(水路)	中央区城見1	寝屋川と第二寝屋川の合流点(角はOBP)。
50 森小路25	旭区新森3	京阪森小路駅前のY字路。	100 中央公会堂前	北区中之島1	角度は別としてY字路といえばここか。

# 大阪の坂道研究 無名坂にネーミング

## 第2章人名坂を創設する

辻本 伊織

### 【目的】

前々回の平成25年度研究成果報告会では「**第1章アベノの坂10選**」として発表した「**大阪の坂道研究**」の**第2章**である。大阪に存在する趣きある無名の坂道を見だし、歴史（由緒・巷説）や形態などからそれにふさわしい名称をつける。その名称によって人々の注意や関心を喚起し、人口に膾炙させることにより観光資源としての機能を発揮できるものにしてゆくの目的である。今回の第2章では大阪にはほとんど存在しない人名を冠した坂（人名坂）を創造することにする。切り口は変わるが、通底しているのは坂道を『**そこにある観光資源**』として『**低予算で活性化**』するという戦略である。無名坂は名づけられたことにより単なる傾斜した道ではなくなり、発信する記号をもった観光資源となる。それとともに由来となった人物も顕彰されることとなる。

※坂道に関する定義、坂道リサーチの方法、他府県の坂道状況、日本人の坂道観などは第1章と重複する部分が多いので**別添資料**とした。ぜひご参照いただきたい。

### 【内容・結果】

#### 1、場所をどこに選定するか？

大阪市内の坂道はほとんどが上町台地の外縁に存在する。有する区域は住吉区・阿倍野区・天王寺区・中央区に偏っている。坂の有効利用において大阪は他府県の成功事例に見習うべき点が多いのが実状である。唯一の成功事例は天王寺区の天王寺七坂であろう。今回は区割りでなく市内全体からふさわしい無名坂を発見することとなる。

#### 2、どのような人物を選定するか？

大阪人であり、大阪に貢献した人物であるが、現在あまりスポットライトをあてられることがなくなっている人物。歴史上の人物というよりはその人が活躍した時代がまだ人々の記憶にある人物。あるいは名前ばかり有名であるが実体はほとんど知られていない人物。ということ念頭に今回のアプローチとしてみた。

#### 3、具体的には誰か？

「まず人名ありき」で試みると、坂を選んでから妥当なネーミングを付与するのは効率が断然悪くなる。それでも今回候補の人名坂創設10例ほどから精選して代表的な3坂と3名を発表するものである。

※これらはすべて私の独断的命名によるものなので、参考事例・試行事例として、ご寛恕いただければ幸いである。



## ①庄野坂 大阪市住吉区帝塚山西1丁目

### 帝塚山地域興隆の原泉 庄野父子（庄野貞一・英二・潤三）を顕彰して

明治時代は原野であった帝塚山地域は、現在大阪有数の高級住宅地になった。

もちろんそれは地元有志の力が大きいのだが、それだけではなく文教地区としても認められているのは、帝塚山学院の初代院長庄野貞一や子息の英二・潤三などの活躍が大きく影響していることは間違いない。そういう意味で学習院を模したと言われる帝塚山学院は古墳とともにこのあたり一帯のシンボルなのだ。

帝塚山学院前の道をまっすぐ西へ行く南海電車を越え、帝塚山地名の由来となった前方後円墳を越えたあたりから、長く緩い下り坂となる。この坂を庄野父子をリスペクトして庄野坂と名づけたい。

#### 帝塚山学院正面全容



#### 庄野坂 西から東への展望



#### 帝塚山学院

庄野貞一が地元から求められて初代院長となった帝塚山学院も、本年創立100周年を迎える。父に続いて院長になった庄野英二は児童文学者としても有名。弟の潤三はこの帝塚山学院を舞台とした『プールサイド小景』で1955年芥川龍之介賞を受賞し、第三の新人と呼ばれる文学者集団の中心的存在として活躍する。

彼が住吉中学に学んだときの教師に日本浪漫派の詩人伊藤静雄がいる。また小学校（帝塚山学院小学校）以来の友人に芥川賞作家の阪田寛夫がいる。上町台地にはこれら文学者のモニュメントが数多い。

#### 庄野潤三 1921年～2009年

芥川賞受賞作の『プールサイド小景』は帝塚山学院のプールへ子どもと泳ぎにくる親子から話が始まる。小市民のなごやかな日常生活・・・その裏に隠された真実が徐々に明らかになってくる。

都会風に洗練された文体が返ってドロドロした日常生活の実態を描き出すのに効果を上げている。この短編小説の冒頭の電車は学院の横を走る南海電車を指している。

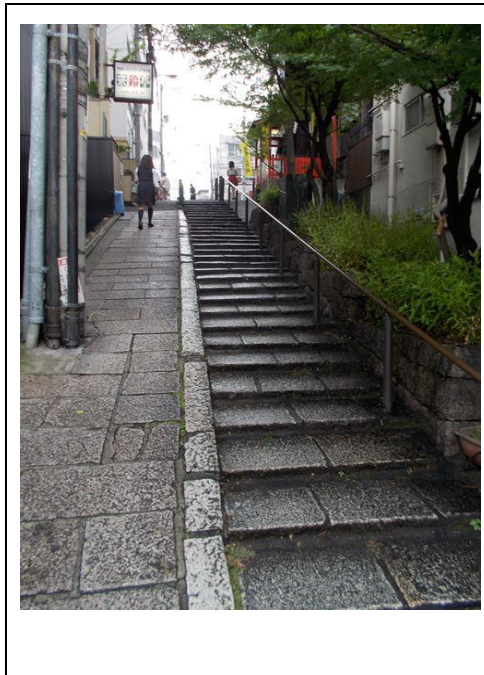
## ②直木坂 大阪市中央区安堂寺町2丁目

### 文豪 直木三十五を顕彰して

言うまでもなく直木三十五は芥川賞とならぶ直木賞という文学賞の由来で有名である。しかし、この人が大阪出身であることを知らない人も多い。ある意味一時代を劃し天下をとったとも言える作家であり、その全国区的な容体が大阪色を消しているのではなかろうか。彼はこの坂のすぐ近辺で育った。坂の上からは長堀通りを含む空堀一帯（ノバクと呼ばれた）が見下ろせ、例えばそこの住人であった花月亭久里丸（漫談の創始者であり小学校同級生）と石合戦をしたことなどのエピソードもある。

この坂ほど直木にふさわしい坂はないとの思いをこめて直木坂と名づけたい。

### 長堀通りより見上げる直木坂



### 直木三十五執筆スタイル



### 榎木大明神の祠

祠は傍らの木より名づけられた榎木大明神。実際は槐の木であるがなぜか榎木大明神と呼ばれている。石段状の坂の途中には直木の代表作『南国太平記』文学碑がある。生家は谷町6丁目付近であるし、居宅は坂をあがって右へ少しの場所にあった。このあたりは安堂寺町である。

この榎木は代が変わっているが、往古より熊野街道や伊勢街道を往還する旅人たちのランドマーク的役割をはたしてきた。石段をあがると、まっすぐ北へ進む道があり、これがお祓い筋である。友だちがおり、貸本屋があり、親切な庵主さんがいて直木の幼少年期の小世界は実にこの範囲に色濃く残されている。

### 直木三十五 1891年～1934年

文藝春秋を創立する菊池寛と組んで時代小説の大ブームを起こす。新聞や雑誌を連載多数かかえ書きに書きまくる流行作家となるが、その頂点で宿痾の肺疾により夭折。稼いだ以上に浪費したので彼のキャッチフレーズは「芸術は短く貧乏は長し」。奇想天外ハチャメチャの生涯を送った。

彼は原稿執筆をほとんど写真のように腹ばいでこなした。この習慣が致命的な肺疾を招いた一因かもしれない。

### ③松鶴坂 大阪市住吉区帝塚山西4丁目

#### 巨匠 笑福亭松鶴（六代目）を顕彰して

阪堺電軌軌道阪堺線の東粉浜停留場から東へだらだらと緩やかにあがっていく坂。落語家笑福亭松枝が書いた『ためいき坂 くちぶえ坂』という六代目松鶴とその弟子たちの生態を活写した実録小説はこの坂が舞台である。タイトルだと坂は二つあるようだが実際は一つの坂であり、このゆるやかな坂を指している。行きはなんとも心苦しく、帰りは口笛を吹きたくなるような開放感。それが彼・松枝にとって旧松鶴邸へ通じる坂の日常であった。

六代目松鶴が数々の逸話を残し、大勢の弟子たちと過ごした家は、現在弟子のひとり鶴瓶によって改築され落語をはじめとしたイベント会場『無学』となっている。

#### 現在の無学 元松鶴邸



#### 無学前から松鶴坂の東方向を見る



#### 無学

元の家屋の面影は感じられない。ごたごたした長屋風の古い屋敷は、洒落た綺麗な家に生まれ変わった。鶴瓶のこの家を保存するという気持ちも素晴らしいものがある。だからこそ、ここが六代目笑福亭松鶴とその弟子たちの笑いあり、怒りあり、涙ありの場所であったことを後世に伝えたい。この家の前が坂である。松枝の言うところのまさにためいきとくちぶえの対立する心理・感情をかかえた坂であるとの表現・定義を尊重しながら、それを生み出した矛盾の本体である六代目をリスペクトして松鶴坂と名づけたい。

#### 笑福亭松鶴 1918年～1986年

六代目松鶴は衰えきった上方落語を復興させる原動力となった四天王の筆頭である。豪放に見える芸風・脳梗塞を患ってからは、いささか呂律のまわらぬのを酒飲みの話で紛らせていたが、私が学生時代聞いていた頃は立て板に水のような実にあざやかな能弁であった。また『らくだ』などで東京の落語家たちに一目置かせる、巨匠と言うにふさわしい落語家でもあった。

# 大阪を歩く（京街道編）～枚方宿・守口宿を中心に～

田中 睦彦

## 【目的】

京街道を実際に歩いて見て、京阪間の一般的にまだ知られていない、おすすめの観光スポットや観光資源を再発見する。

## 【内容】

- ・京街道のあらまし
  - ・ 豊臣時代：伏見城と大阪城を結ぶ陸路として、淀川左岸に文祿堤を築く。
  - ・ 江戸時代：東海道の延長として、枚方宿・守口宿が整備され、宿場町として発展した。
- ・各市町村の京街道の観光としての取り組み
  - ・ 道しるべ ・ 町並み景観 ・ イベント
- ・各地に伝わる昔話
  - ・ 茨田堤の衫子絶間：仁徳天皇時代の人柱伝説
  - ・ 鶴の恩返し：別子山の鈴見伝説
  - ・ 阿弋流為：蝦夷の首長アテルイの終焉の地伝説
  - ・ 亀の恩返し：亀に助けられた赤ん坊は、のちの山蔭卿伝説

## 【結果】

[おすすめの観光スポット]

- ・ 高麗橋～守口宿間：高麗橋・京橋・野江水神社・関目の七曲り
- ・ 守口宿：難宗寺と盛泉寺・大塩平八郎ゆかりの地・江戸川乱歩寓居・一里塚
- ・ 守口宿～枚方宿間：茨田堤・光善寺
- ・ 枚方宿：鍵屋・御茶屋御殿・鋳物工場跡・別子山鈴見の松
- ・ 枚方宿～樟葉間：片埜神社・アテルイ塚・楠葉台場跡・久修園院

[提案]

- ・ 非公開社寺特別公開の日を設け、宝物等を一般に知ってもらう。
- ・ 淀川堤防に松並木を再現する。
- ・ 一里塚や高札場を復元し、旧街道の存在を知らせる。
- ・ 道しるべやカラー舗装道路などで街道をわかりやすくする。
- ・ 本陣等の復元を図り街道交流館・ミュージアム等として活用する。



## 1 紹介したい京街道の観光スポット

### (1) 高麗橋～守口宿

#### ① 高麗橋：大阪市中央区東高麗橋

江戸時代幕府の管理する公儀橋だった。西詰に櫓屋敷や高札場があったほか、諸方への距離をはかる起点にもなっていた。

#### ② 八軒家浜：大阪市中央区天満橋京町

京都と大阪を結ぶ三十石船が発着する船着場があり、淀川約 45 km を上り 1 日、下り半日で運航していた。

#### ③ 京橋川魚市場跡：大阪市都島区片町

大阪城の北を流れる寝屋川に京橋が架けられている。昔川魚を扱う市場がこの京橋にあった。

#### ④ 野江水神社：大阪市城東区野江

戦国武将三好政長の榎並城内に祀られていた神社。近くに榎並城跡及び榎並猿樂発祥の地碑がある。

#### ⑤ 関目七曲り：大阪市旭区高殿

大阪城の防備のため、蛇行するようにつくられた街道で、近くの関目神社には関目（目で見る関所）発祥の由来碑が立つ。

### (2) 東海道 5 7 次守口宿

#### ① 文禄堤：守口市本町

長さ約 27km あった文禄堤は、度重なる淀川の改修で堤の多くは姿を消し、ここ守口にのみ面影を残している。

#### ② 幻の大阪遷都ゆかりの寺 難宗寺：守口市竜田通 盛泉寺：守口市浜町

慶応 4 年 3 月 22 日明治天皇が大阪へ行幸されたおり、難宗寺に宿泊した。これは大久保利通の進言による大阪遷都の意思を持った行幸なので三種の神器の一つ八咫鏡を伴い盛泉寺の本堂前に賢所を奉安された。しかし、4 月 11 日江戸無血開城が実現し大阪遷都は幻とかし、一転して江戸遷都となった。

今も、難宗寺には明治天皇玉座の間が残る。大正天皇も皇太子時代にここに立ち寄り大阪に行幸した。

#### ③ 大塩平八郎ゆかりの書院跡：守口市竜田通

白井家当主は豪農で大塩の私塾洗心洞の有力門人として、経済的な支援を行っていた。大塩はこの白井家でも、守口近郷の農民達に講義したと伝わる。

#### ④ 名探偵明智小五郎誕生の地：守口市八島町

江戸川乱歩は 27 歳の 大正 9 年守口市に移り住み、妻子とともに守口市や門真市の借家 5 軒を転々として暮らした。

乱歩が大正 14 年に書いた名探偵明智小五郎が初めて登場する『D 坂の殺人事件』には、京阪守口車庫の柵のアイデアがトリックに使われた。

#### ⑤ 一里塚跡碑：守口市浜町

街道の両側一里ごとにその目印として設けられ、旅人の便をはかった。京街道で一里塚跡の碑があるのは、ここ守口宿の上見附のみである。

### (3) 守口宿～枚方宿

#### ① 伝茨田堤碑と杵子伝説：寝屋川市・門真市・大阪市旭区

日本書紀の仁徳天皇の条に茨田堤の築造のことがでていますが、それには二か所の難所があって、人柱をたてて堤を完成させようとした。武蔵国の強頸は犠牲になったが、茨田連杵子は機智をもっていけにえになることを免れた。

#### ② 蓮如上人ゆかりの光善寺（市史跡）：枚方市出口

本願寺8世蓮如上人が建立した御坊で、ここを拠点として摂津・河内・和泉で布教活動を行い、3年後山科本願寺に移った。

数寄屋風書院や石川丈山作庭の庭園、さいかちの木（府天然記念物）など見どころが多い寺院である。

### (4) 東海道56次 枚方宿

#### ① 明治18年淀川洪水碑（市登録有形文化財）：枚方市桜町

西見近くの新川には、明治18年淀川洪水碑や郵便屋の渡し跡碑がある。

#### ② 鍵屋資料館：枚方市堤町

枚方宿の代表的な船宿「鍵屋」は、今は市立の資料館である。

#### ③ 万年寺山の御茶屋御殿：枚方市枚方上之町

天下茶屋が枚方にもあった。太閤秀吉は京都伏見城と大阪城を行き来する際、万年寺山の中腹に御殿をたて休憩をした。

江戸時代に入ると2代将軍徳川秀忠や3代徳川家光も逗留したと記録に残されており、今は公園で眼下には本陣跡の三矢公園もあり、淀川も見渡せる。

#### ④ 鋳物工場跡とムクノキ：枚方市枚方上之町

代々鋳物師として繁栄した田中家の鋳物工場（府有形文化財）があった。現在、旧主屋（府有形文化財）とともに枚方市立旧田中家鋳物工場民俗資料館として枚方市藤阪に移築され公開されている。

ムクノキ（府天然記念物）が工場跡に残る。葉が鋳物の研磨に用いられた。

#### ⑤ 別子山の鈴見伝説（鶴の恩返し）：枚方市岡南町

一乗寺の地蔵尊縁起によると親孝行な鈴見青年は仕事の帰りに鶴を助ける。後日若い女が訪ねてきて母親の看病をした。母親が亡くなると、二人は夫婦になり、男の子が生まれ、5歳になった男の子に、母は別れを告げ天上界に帰った。聖徳太子が親孝行の鈴見に地蔵像をあたえる。父子は富貴になり、長生きをし、大往生を遂げた。

### (5) 枚方宿～楠葉

#### ① 交野ヶ原の七夕伝説：枚方市の観音寺山公園、交野市の機物神社

平安貴族の遊獵の地であった交野ヶ原には天野川が流れていた。貴族たちは、七夕伝説にちなんだ多くの歌を詠んだ。

今でも橋の名前に天津橋や鶴橋など七夕にちなむ名前を付けたり、「おりひめちゃん」「ひこぼしくん」などのマスコットキャラクターをつくられ、観光イベントに活躍している。

② 一之宮片埜神社：枚方市牧野阪

本殿（国の重要文化財）は、豊臣秀頼が再建したもので、華麗な桃山様式をよく示している。東門・南門・石造灯籠（府有形文化財）。

③ 阿弋流為と母禮の塚：枚方市牧野阪

牧野公園にある塚は、坂上田村麻呂に降伏し、この地で処刑されたとする蝦夷の首長である二人を顕彰する塚である。

④ 楠葉台場（国の史跡）：枚方市楠葉中之芝

京都に侵入する外国船に備える目的で、設計の総責任者として勝海舟が命ぜられ、砲台が築かれた。

⑤ 久修園院のお堂（亀の恩返し）：枚方市楠葉中之芝

藤原高房が淀川を下った。ひとりの鵜匠が亀を捕えて殺そうとしていた。憐れに思った高房は亀を買取り水中に放してやった。

さて、同じ船に乗っていた愛児の継母は、児を亡き者にしようと、乳母に命じ、故意に児を河中に落とした。高房は悲嘆にくれるばかり、今は神仏にすがるほかなく、常に信仰する久修園院の方を伏し拝んだところ、先刻助けた亀がその甲羅に愛児を乗せて浮かび上がってきた。この幼児こそ後の山蔭中納言だと伝える。

## 2 宝物等を公開して欲しい神社仏閣等

① 枚方市の久修園院：天球儀（市有形文化財）・地球儀（市有形文化財）・愛染明王像・両界曼荼羅・亀のお堂

② 枚方市の関西医科大学牧野キャンパス：講堂の天井画「双龍図」、「十二支図」

③ 枚方市の一乗寺：天の川鈴見地藏尊縁起

④ 枚方市の浄念寺：旧万年寺の本尊不動明王像（市有形文化財）

⑤ 枚方市の意賀美神社：豊中市の岩田貫斎奉納の算額（市有形民俗文化財）

⑥ 枚方市の光善寺：蓮如上人像・数寄屋書院・庭園・さいかちの木(府天然記念物)

⑦ 寝屋川市の鞆呂岐神社：絵馬

⑧ 守口市の難宗寺：玉座の間

⑨ 守口市の守居神社：刀匠備中守橋康広の「刀一口」

⑩ 守口市の佐太天神宮：菅原道真自作の木像

⑪ 守口市の来迎寺：後村上天皇肖像画・幽霊の足跡・八幡曼荼羅図（国の重文）

⑫ 守口市の光明寺：本尊十一面観音立像（国の重文）

### 【参考文献】

『京街道』横井三保著（2002）、『東海道枚方宿と淀川』中島三佳著(2003)、『河内名所図会のおもしろさ』森田恭二編著（2010）、『枚方の歴史』瀬川芳則・西田敏秀・馬部隆弘・常松隆嗣・東秀幸著（2013）、『ふる里守口を訪ねて』駒井正三著（1991）、『大阪の伝説』庄野英二・中村浩著(1976)、『交野ヶ原と七夕伝説』天の川七夕星まつりの会（2000）、『河内今昔事典』富田寅一著(2001)

# 大阪の通称「〇〇道」の研究

行俊 良雄

## 【目的】

京都の「哲学の径」「鯖街道」、奈良の「山の辺の道」など名前を聞いただけでわかる有名な道がある。これらの道は多くの人がイメージを共有でき、同時に場所の特定もできる。大阪にも通称名で呼ばれるいくつかの道があり、それぞれ名称の由来となる歴史やエピソードがある。仮に「法善寺横丁」に名前がなければ、ミナミに多くある裏路地のひとつにすぎないが、名前があることによって、歌が生れ、映画の舞台になり多くの人を訪れることによってブランド化されていった。

通称名の道は多くの人が行き交う時代に自然発生的に生まれるが、環境の変化によって人の往来が減ると名前が消えていく。近年は民間や行政によって命名されることもある。命名によって賑わっている所もあるが、命名前の様子と変わらない道も多い。通称名の道が地域に親しまれ、定着している事例を調べ、沿道の地域の人々、民間の事業者、行政に対しての提言にまとめる。また、時代の変化によって使われなくなった通称名の道については名称の復活の可能性について探る。

## 【内容】

近代大阪の通称名の道の変遷を分類、整理し、道に名称があることの効果を確認する。公募により新たに命名された道については、定着させるための要素と問題点を調べる。また、次の3つの視点から具体的な事例でも確認する。

- 1) 新たに道の関係者によって命名された道  
ダイヤモンドトレール／豊中ロマンチック街道／オタロード（日本橋）
- 2) 歴史的由来の名称を近年に通称名として付けた道  
レッチワースロード（吹田市・千里山）
- 3) かつては通称名があった道、通称名があまり使われなくなった道、  
ビール道（吹田市）／造船所通（大阪市住之江区）

## 【結果】

- 1) 道には名前があることが重要。
  - ①道（通り）の名称で所在地を表示した方が観光客に分かりやすい。
  - ②道の名称に通称名があると、インターネットで検索しやすい。
- 2) 道の名称について、命名時には次の点に留意する必要がある。
  - ①景観や象徴的な建物の表現されている。
  - ②歴史的な由来が含まれていること。
  - ③言いやすいこと。
  - ④他の地域と差別化できること。
- 3) 道の名称は現地に表示され、地図に記載されなければ定着しない。

## 1. 全国的に有名な通称名の道 共通点

- 名称の由来となる歴史・ストーリーがある。
- 「あれっ?」と思わせる名称が興味を深める。
- 「道」を核に周辺の建物が一体となって景観のイメージを作り出す。
- 多くの人が特定のイメージを共有。  
同時に場所が認知される。

↓

多くの人が集まり、賑わう。

↓

地域・観光の活性化

## 2. 研究対象

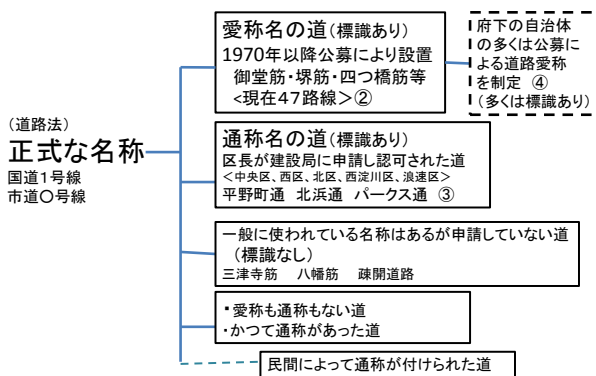
- ①現状通称名で呼ばれている道
  - 古くから通称名で呼ばれてきたもの。
  - 新たに作られた通称名。
- ②かつて通称名で呼ばれていたが消えてしまった道。

<留意点>

名称は「道」「筋」「通り」「ロード」「ストリート」「街道」のいずれのものも対象とする。  
ただし、旧街道は含まない。

- ①大阪府内の通称名(愛称名も含む)の道の変遷を調査。
- ②通称名の道を分類・整理。
- ③復活できる通称名の発掘。

## 3. 通称・愛称名の道の分類 <資料参照>



## 3. 通称・愛称名の道の分類 <資料参照>

1. 大阪市内の通称名の道の変遷
  - 1) 1970年(昭和45年)以前  
大阪市内中心部においては江戸時代から通称名が使われていた。船場において「通り名」はほぼ町名にあたるものであったので、地図には別に南北の「筋名」が記載されていた。
  - 2) 1970年(昭和45年)以降、イベント開催にあわせて47路線に公募により愛称が付けられる。  
・1970年(昭和45年)日本万国博覧会開催時 18路線  
・1983年(昭和58年)大阪築城400年まつり 15路線  
・1995年(平成7年) なみはや国体に向けて設定 14路線  
大阪市内の愛称名の道(47路線)については、旧来から通称名として使われていた道も多く、地図にも記載されていて広く定着している。加えて、地下鉄の路線とも連動していてわかりやすい。
  - 3) 愛称道路以外に「通称名」の道路として各区長からの要望により大阪市建設局により認定された道路には、道路名の標識が設置される。通称名の道路は現在26路線で中央区、西区、北区、西淀川区、大正区、浪速区の6区にある。
  - 4) 現実には通称名で呼ばれているが、標識にも地図にも記載のない道として三津寺筋、八幡筋等
2. 大阪府下の各都市の愛称道路の設定  
吹田市は2000年に市内の道路に一括して公募により愛称を設定した。他市においては必要に応じて適宜公募などにより愛称を設定し、標識を設置している。
3. かつては通称名の道として存在した道  
時代や周囲の環境の変化により消滅した通称名の道。たとえば「ビール道」「造船所通」など。
4. 道周辺の活性化をめざして関係者により命名された道。具体的な事例で検証。

## 4. 既に行政によって付けられている通称名の道の問題点

- 大阪市の愛称道路以外通称名の道路の場所がわかるサイトがない。(現地に行かなければわからない。)
- 名称にインパクトがない。  
けやき通り、さくら通りなどどの地域でもある名称
- 大阪市の通称名の道の多くは中央区、西区、北区、西淀川区、浪速区、大正区にあり、他の18区にはない。
- 大阪市内の多くの人が知っている道でも通称名の表示のない道がある。→三津寺筋 八幡筋
- 地図に通称名の記載がない。

## 5. 具体的な事例の検証

### 1) 新たに道の関係者によって命名された道

- ①ダイヤモンドトレール(屯鶴峯～金剛山系～槇尾山)
- ②ロマンチック街道(豊中市)
- ③オタロード(浪速区)

### 2) 歴史的由来の名称を近年に通称名として付けた道

- ①レッチワースロード(吹田市・千里山)

### 3) かつて通称名で呼ばれていたが消滅した道

- ①ビール道(大正～昭和時代・吹田市)
- ②造船所通(大正～昭和時代・住之江区)



5-(1)新たに道の関係者によって命名された道

①ダイヤモンドトレール(略称・ダイトレ)

屯鶴峯-二上山-大和葛城山-金剛山-岩湧山-槇尾山  
1970年大阪府によって制定、1972年に命名された。

金剛山-金剛石=ダイヤモンドが由来



- ・毎年4月にイベント開催。
- ・年間80万人が訪れる。
- ・一言で言い表せる名称がなければ、「二上山から金剛山への縦走路」

5-(1)-② 豊中ロマンチック街道

昭和40年代「新修 豊中市史」  
沿道にはほとんど人家なし。(旧地名・野畑)  
昭和50年代前半  
病院、スーパー、低層住宅  
昭和50年代後半  
飲食店が建ち始める  
(朝日新聞平成14年8月14日)  
昭和63年「ロマンチック街道」と名付けられる。→ここから急激に発展



1980年5月  
命名前の道

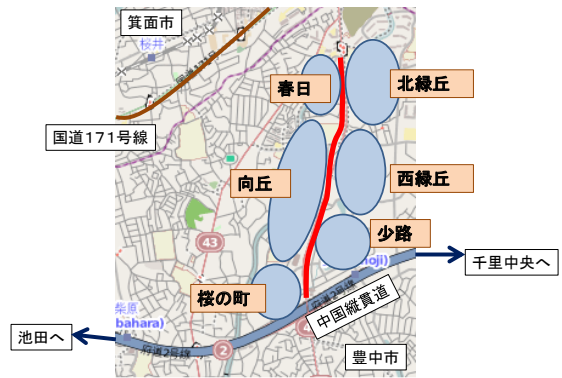
「空から見た大阪」1981年  
日本交通公社出版事業局

5-(1)-② 豊中ロマンチック街道



商業施設は「ロマンチック街道」、マンションは「緑丘」を使うことが多い。

沿道には行政上6つの町名があるが、「ロマンチック街道」という通り名で一つにまとまっている。



5-(1)③オタロード(浪速区)



2014年3月ストリートフェスタ

「オタロード」という通称名が既に地図に記載されている。

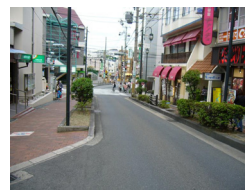
正式な名称は日本橋筋西通商店街

かつてはでんでんタウンの裏通り  
電気メーカーのサービスショップ、  
業務用品店が並んでいた。

5-(2)歴史的由来の名称を近年に通称名として付けた道  
レッチワースロード(吹田市・千里山)



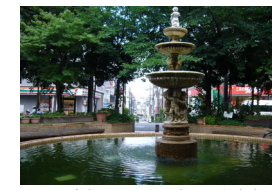
千里山住宅地は大正時代イギリスのレッチワースという街をモデルにして作られた



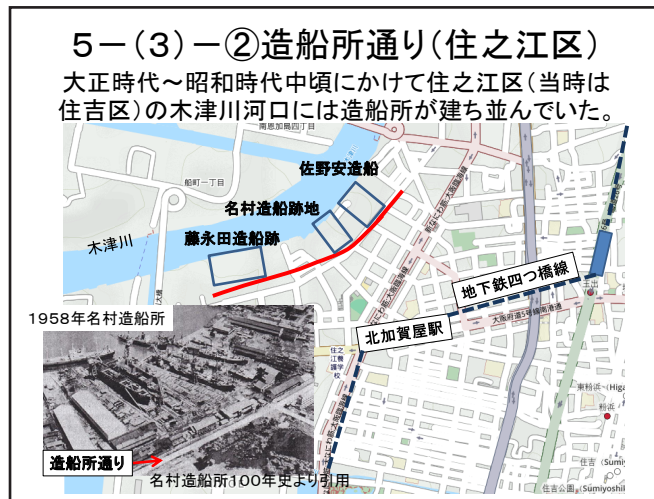
阪急千里山駅前からの坂道。飲食店が多い。



阪急千里山駅前の案内板に加筆。右が北。



丘の上の噴水はこの町ランドマークの存在。  
英国のレッチワースにもある。



### 通称名「造船所通り」復活命名の可能性

- ① 象徴的な施設が近代化産業遺産で残されている。
- ② この拠点施設に絡んだプロジェクトやイベントが継続的に行なわれている。
- ③ 周辺に名残りとなるものがいくつか残っている。  
バス停の名称／電柱の標識／跡地の石碑
- ④ 沿道に商業施設が増えてきている。  
→道による場所の特定。
- ⑤ 「造船所」の名を付けられるところはあまりない。

### 6. 具体的な事例のまとめ

- (1) 新たに命名された通称名の道
  - ① ダイヤモンドトレール ② ロマンチック街道 ③ オタロード  
→時代の流れが感じられた時に早い時期に名称を通称名として付けてしまうのは有効。→今の時代は検索キーワードになる。
- (2) 歴史的由来の名称を近年に通称名として付けた道
  - ① レッチワースロード(吹田市・千里山)  
歴史的な背景が表現された名前が地域の人の意識の高さを感じられるが、少し言いにくい。定着するかどうか？
- (3) かつて通称名で呼ばれていた道
  - ① ピール道 ② 造船所通 → 復活できる可能性あり。  
景観や地名から引用した道の名前は地域の人にとっては分かりやすい名称かもしれないが、他の地域との差別化はできない。かつて使われていた道の通称名はその地域だけのものが多く使える場合がある。両者とも象徴的な建物が残っている。

### 7. まとめ

- 1) 道には名前があることが重要。  
名前がないと多くの人で場所の特定ができず、共通のイメージも生れない。名称があることによって生活面での利便性が高まり、観光面など地域の活性化につながる。  
① 道(通り)の名称で所在地を表示した方が観光客に分かりやすい。  
② 道に通称名があると、インターネットで検索しやすい。
- 2) 道の名称について、命名時には次の点に留意する必要がある。
  - ① 景観や象徴的な建物(商業施設、公共施設)などが表現されている。
  - ② 歴史的な由来が含まれていること。(人物、建物跡、歴史的なエピソード)
  - ③ 言いやすいこと。(語呂がよいこと。)
  - ④ 他の地域と差別化できること。
- 3) 道の名称は現地に表示され、地図に記載されなければ定着しない。



# 「ゆかり・ならでは・なにわ旅」による大阪ファン創造

森島 克一

## 【目的】

昨年、大阪の観光はインバウンドの恩恵に恵まれた。それは、外国人旅行者の購買力による経済効果に加え、観光地としての大阪に改めて気づく契機をもたらした。

しかし、インバウンドへの過度の依存は好ましくない。我々は将来に向け、観光都市としての魅力を向上させる地道な取り組みを続けなければならない。

ご高承のとおり、大阪の強みは、買物、通勤、出張、観光、転入など様々な目的での来訪者が多いことである。一方、弱みは、その歴史・文化にかかわらず、視覚に直接訴えるような観光対象が乏しいということである。

このことから、来訪者が興味を抱くような仕掛けが必要となる。そこで「ご当地ゆかり」（来訪者の出身地・居住地など特定の場所と関係があるコンテンツ）で興味を持ってもらい、「大阪ならでは」（大阪でしか体験できない、もしくは発祥が大阪にあるコンテンツ）で魅力を感じてもらい狙いで観光プランを提供し、さらには、大阪ファンを創造することを目指すのが本研究の目的である。

## 【内容】

まず、プランの方向性を決めた。「気軽に」「ついでに」やってみようと思うような小旅行でありながら、五感に訴える魅力的な観光機会を提供することを主眼に3つの方針を設定した。

次に、プランを策定する地域の優先順位を考えた。具体的には、統計資料により、「大阪への旅行者はどここの都道府県から来ているのか？」「旅行者の大阪志向は都道府県別にどうなっているのか？」を分析し、優先度の高い3つの地域を選んだ。

最後に、プラン策定にあたっては、コンテンツと訪問地や利用施設などを、ある程度体系的に組み合わせる汎用性ある手順を考案した上で、その手順に基づきプラン例を策定した。

## 【結果】

「ゆかり・ならでは・なにわ旅」の具体的なプラン例を、優先度の高い3地域から1地域あたり1県、合計3プラン策定した。

次に、具体的プラン策定を踏まえ、媒体ごとの活用例を考えた。

最後に、「ゆかり・ならでは・なにわ旅」の活用により、大阪の多様な魅力に気づいた来訪者が増え、観光文化都市大阪のブランド価値を向上させることが期待できると結論づけた。加えて、この過程を通じ、見逃されがちな観光資源が見直される可能性についても言及した。

### 1. 研究目的 先述【目的】のとおり

### 2. 「大阪ならではの」と「ご当地ゆかり」

大阪でしか体験できない、もしくは発祥が大阪にあるコンテンツを「大阪ならではの」とする。「大阪ならではの」は表1のとおり、幅広く見つけることができる。また、来訪者の出身地・居住地など特定の場所と関係があるコンテンツを「ご当地ゆかり」とする。「ご当地ゆかり」は表2のとおり、各都道府県で数個は容易に見つかる。

表1 「大阪ならではの」例

繁華街	道頓堀 心齋橋 新世界 通天閣	芸能	なんばグランド花月 天満天神繁昌亭
施設	大阪城 USJ 海遊館		国立文楽劇場
商店街	黒門市場 道具屋筋 船場センタービル	民間信仰	四天王寺 露天神社 法善寺横丁
	大阪駅前ビル 天神橋筋 空堀 粉浜		石切神社 生駒山
交通	御堂筋 地下鉄御堂筋線 阪堺電車	食	押し寿司 洋食 うどん こなもん
	渡船 アクアライナー リバークルーズ		ホルモン 関東煮 立ち呑み
建築	近代建築群 なんばパークス 梅田スカイビル	温浴	銭湯 スパワールド
	あべのハルカス 環境局舞洲工場		天神祭 住吉祭 愛染祭 だいがく
企業博物館	くすり 魔法瓶 パナソニック ミズノ	祭	だんじり ふとん太鼓 やぐら
	インスタントラーメン 企業家ミュージアム		公共

表2 主要都道府県※の「ご当地ゆかり」例 (※人口、官公庁設置状況等により選定)

北海道	松前藩 昆布 俵物 竹鶴政孝	静岡	関一 豊田佐吉 森石松 おでん
宮城	伊達政宗 山南敬助 立売堀	愛知	豊臣秀吉 徳川家康 黒川紀章
埼玉	古墳群 渋沢栄一 須田剋太	京都	寺社 古典 幕末 大丸 高島屋
千葉	TDL 歴博 モルメル 日本武尊	兵庫	港 船 紡績 異人館 モダン
東京	東京駅 銀座 隅田川 タワー	広島	鶴岡一人 江夏の21球 かき舟
神奈川	港 船 江ノ電 源氏 南北朝	香川	空海 金毘羅さん 菊池寛 うどん
新潟	河井継之助 長野宇平治 食器	福岡	ホークス キャナルシティ 太宰府天満宮
石川	蓮如 前田家 軍都 片岡安	熊本	加藤清正 細川家 本山彦一

### 3. プラン検討にあたって

#### (1) 方向性を決める

プランの方向性としては、まず、ひとり旅を想定する。「気軽に」「ついでに」やってみる小旅行を考えた場合、ひとり旅は最も親和性が高いからである。次に、所要時間として、公共交通機関を使って一日弱程度を目処とする。さらに、「見る」要素だけでなく、「賑」・「楽」・「食」といった要素を組み合わせる。魅力的な観光には、五感に訴える多様な要素が必要だからである。

#### (2) 優先順位を決める

国土交通省「宿泊旅行統計調査報告(平成26年)」により分析した。(分析1, 2)

##### (分析1) 大阪への旅行者はどこの都道府県から来ているのか?

大阪府での宿泊者数を都道府県別に上位から並べると、次頁の表3の通り、概ね人口順になり上位を大都市圏が占める。

##### (分析2) 旅行者の大阪志向は都道府県別にどうなっているのか?

各居住地県から見た「宿泊先としての大阪府の順位」は大阪志向の強さを表す。例えば、大阪から見ると表3の通り、東京からの宿泊者が最も多いが、逆に東京からは、千葉への宿泊者が最も多く、北海道、沖縄と続き、大阪は4位となるため、東京は大阪志向が強いとは言えないことになる。

このように大阪志向の強弱を表したのが表4であり、次のことを見て取ることができる。

- ①九州は、7県中6県が4位以下であり、位置や交通アクセスの割に、大阪志向が弱い。
- ②北陸は全ての県が3位以上であり、うち2県が2位と大阪志向が強いが、統計に反映されていない北陸新幹線は脅威である。

以上の分析から、大都市圏、九州、北陸の3エリアを優先することとした。

表3 大阪府内宿泊者数 居住地別順位  
(国土交通省統計より森島作成)

順位	居住地県 (≒出発地)	宿泊者数 (万人)	人口 順位
1位	東京	87.3	1
2位	神奈川	27.0	2
3位	愛知	23.6	4
4位	福岡	17.2	9
5位	千葉	16.0	6
6位	埼玉	15.7	5
7位	兵庫	14.1	7
8位	広島	11.7	12
9位	北海道	10.6	8
10位	静岡	7.1	10
	全 国	479.0	—

表4 各居住地県から見た「宿泊先としての大阪府の順位」分布 (国土交通省統計より森島作成)

宿泊先としての 大阪府の順位 (除く自県)	居住地県 (≒出発地)					
	(九州以南)	(中・四国)	(近畿)	(中部)	(関東)	(東北以北)
1位		鳥取 高知	和歌山			
2位	福岡	広島 島根 徳島 香川 愛媛		福井 石川	千葉	
3位	沖縄	岡山 山口	兵庫 三重	愛知 富山 新潟		北海道
4位	長崎 大分 鹿児島		奈良 滋賀	岐阜 静岡	東京 埼玉 神奈川	岩手 山形
5位以下	佐賀 熊本 宮崎		京都	長野 山梨	茨城 栃木 群馬	福島 宮城 青森 秋田

#### 4. プランの策定

いよいよプランの策定に入るが、どの都道府県であっても均質なレベルのプラン策定ができるよう汎用性のある手順を設定した。具体的には、コンテンツの整理(①-1、①-2)を行なった後、プランを策定(②)した。

①-1 各県の「ご当地ゆかり」を選択して、大阪での訪問エリアを決める。

①-2 訪問エリアにある「大阪ならではの」を「賑」「楽」「食」の別に挙げる。

② ①を踏まえ、取捨選択及び肉付けする形で具体的プランを策定する。

##### ①コンテンツの整理 (大都市圏・九州・北陸からそれぞれ1県を例示)

県	ゆかり	エリア	ならではの(賑・楽・食)
東京	金融・商業、辰野金吾、水辺ライオン、明治の森	中之島[難波橋、証券取引所、日銀]、アクアライナー、梅田、箕面[東京・高尾山と共に明治の森国定公園に指定]	賑：梅田、箕面滝道 楽：アクアライナー、箕面温泉 食：新梅田食道街

熊本	加藤清正、細川家、小西行長、本山彦一、与謝野晶子、大塚惟明	堂島[毎日新聞社跡]、大阪城周辺[城、エルおおさか(伝清正邸跡)、大阪カテドラル・越中井(細川邸跡)]、生玉[持明院(伝清正邸跡)、源聖寺坂]、黒門市場、堺旧市街[小西行長邸跡、菅原神社・行長手植えの傘松、利晶の杜]	賑：黒門市場、道具屋筋 楽：レンタル、環濠クルーズ、湊潮湯 食：南海グリル、美々卵、なんばこめじるし
石川	城、蓮如上人、加賀前田家、軍都、片岡安、裏千家、松尾芭蕉	中之島、本町[南北御堂、企業家ミュージアム]、大阪城周辺[大坂本願寺跡、豊国神社、前田邸跡、玉造稻荷神社]、湊町船着場、なにわ探検クルーズ	賑：船場センタービル、道頓堀、アメリカ村 楽：探検クルーズ、清水湯 食：南たこ梅、大黒、味穂

②具体的プラン例 [ゆかり：☆ ならでは：◎]

東京	<p>【中之島散策】◎証券取引所 ◎難波橋ライオン像[三越本店ライオン像] ☆関一像[元東京高商教授] ☆中央公会堂[ニコライ堂設計・岡田信一郎出世作] ☆日本銀行[東京駅・日銀本店と共に辰野金吾設計]</p> <p>【アクアライナー遊覧】淀屋橋＝OAP(◎造幣局、三菱金属工場跡)＝淀屋橋</p> <p>【梅田・昼食】◎新梅田食道街で昭和グルメ 阪急百貨店 梅田地下街</p> <p>【箕面観光】☆箕面[高尾山と共に明治の森国定公園] ☆滝安寺[宝くじ発祥] ☆笹川良一像[平和島競艇場] ◎箕面の滝 ◎箕面温泉ホテル[坂倉建築研究所] ◎スパ・ガーデン</p>
熊本	<p>【堂島周辺】☆毎日新聞旧社屋玄関[本山彦一] ☆薬師堂[毎日新聞旧本社跡地]</p> <p>【大阪城～生玉】◎城 ☆大阪カテドラル[旧細川邸] ☆エルおおさか ☆持明院[伝清正邸跡]</p> <p>【難波周辺・昼食】◎黒門市場、◎なんばこめじるし 南海電車で堺へ ☆大塚惟明[元南海電鉄社長・大火後のミナミ再興]</p> <p>【堺旧市街】◎自転車のまち…移動はサイクルライフ「さ・か・い」(レンタル) 利用 ◎環濠クルーズ ☆小西行長邸跡 ☆行長手植えの傘松[菅原神社] ☆利晶の杜[与謝野晶子・内牧温泉蘇山郷うす霧や大観峰によりそひて朝がほの咲く阿蘇の山荘] ◎山之口商店街 ◎湊潮湯 【夕食】南海グリル 美々卵</p>
石川	<p>【中之島散策】☆日本銀行[片岡安] 中央公会堂 ☆東洋陶磁美術館[安宅弥吉]</p> <p>【本町周辺】☆芭蕉終焉地[金沢蕉門] ☆南・北御堂[東西別院] ◎企業家ミュージアム</p> <p>【昼食】◎船場センタービル「グルメ街」・「旨いもんストリート」</p> <p>【大阪城周辺～玉造】☆大坂本願寺跡[金沢城も金沢御堂跡] ☆蓮如松跡 ☆豊国神社[金沢にも] ☆極楽橋[金沢城にも] ☆大阪女学院[前田邸跡] ☆玉造稻荷神社[裏千家]</p> <p>【なにわ探検クルーズ】☆湊町船着場[加賀藩蔵屋敷跡] ◎水の回廊一周</p> <p>【道頓堀・心齋橋・アメリカ村】◎清水湯 【夕食】はり重 南たこ梅 大黒 味穂</p>

5. まとめ

- (1) 「ゆかり・ならでは・なにわ旅」の活用例としては、知人を大阪案内する際出身地ゆかりのものをHPで調べる、アンテナショップがその活性化のため大阪にあるその県ゆかりの情報を来訪者に提供する、出身地別のまち歩き、商店街振興、バスツアーのコースを組み入れる、など多様な用途に活用が可能である。
- (2) 「ゆかり・ならでは・なにわ旅」の効果としては、以下①～④の過程を経て、観光文化都市大阪のブランド価値を向上させることが期待できる。このうち①は「ご当地ゆかり」が、②は「大阪ならでは」が、その役割を担う。
  - ①来訪者が観光プランに興味を持ち、実際に体験する。
  - ②来訪者が大阪観光の魅力を確認しファンになる。
  - ③来訪者がリピーターになる。家族や知人、SNS等に情報発信する。
  - ④大阪の多様な魅力に気づいた来訪者が増える。
- (3) この中で、商店街、銭湯、渡船など、見逃されがちな都市生活・文化を象徴する集積が観光資源として見直されることも期待できると考える。

# 大阪城の庭 大阪の庭

藤井 里江

## 【目的】

大阪での観光と言えば、USJなどに代表されるアミューズメント施設での体験や、ミナミ・キタなどでショッピングやグルメを満喫する。といったアクティブな観光が代表的である。これらはもちろん大阪を感じて、楽しんで頂ける点でお勧めである。しかし、ちょっと変わったところで、大阪で庭園を愛でる。というのはどうだろう。近代の大阪は明治維新の影響や、第二次世界大戦による被害により、古来からの庭は消滅してしまっただけのものが多いが、それでもなお残る庭や、戦後新たに造られ、施主や管理者に愛されて存続している庭などが存在する。そういった庭に注目し、発掘することで、大阪の違った一面を紹介し、大阪の魅力の増大につなげることを目的とする。

## 【内容】

大阪の代表的な史跡観光スポットである大阪城にある「本丸日本庭園」「豊国神社境内秀石庭」「西の丸庭園内松豊庵茶庭」の3つを紹介する。特に「本丸日本庭園」についてはどのように日本庭園が造られるに至ったかの経緯を述べ、観光資源として活用する重要性を説明する。「秀石庭」については、現代の代表的な作庭家で全国的にも有名な重森三玲氏の作品が大阪城内に存在し、かつ大阪の歴史と深く関係のあるテーマで造られていることを説明する。

そして大阪の庭の紹介では、今回は重森三玲氏に注目し、「秀石庭」以外に、「岸和田城八陣の庭」「以楽苑」などの巡れる庭、また施主に愛されて現存する「井上邸巨石壺」、再認識により消滅の危機を免れた「少林寺庭園」を取り上げ、重森三玲氏作品の愛好家はもとより、初めて重森三玲氏を知る方へは氏の作品が大阪にあることを知って頂き、そこから庭への興味を持って頂けることを期待する。

## 【結果】

現在大阪において庭だけを見に行くことを目的とした集客については周辺環境との調和などを考えるとまだ多数を引きつける魅力に乏しいかも知れない。まずは大阪の人々よりその存在を認識し、維持されることに尽力し、その上で大阪の魅力として他に発信することで、観光資源として成長していく余地は十分にあると感じている。今回は調査した内の一部の報告に留まったが、機会があれば更に調査し発信していきたいと思っている。



## 1. はじめに

大阪観光と言えば、アミューズメント施設、歴史的建造物や史跡、グルメの街、ショッピング街等で楽しめる方が大勢いる。そんな中で「大阪に庭を見にいきませんか」というと、どうだろう。「庭巡り」と言う関西では京都をイメージする方の方が多いだろう。しかし、大阪にも素敵な庭があることを紹介し、これまでとは違った大阪の観光資源となることを期待しつつ、今回は大阪城の庭、大阪の庭を取り上げてみることにした。

## 2. 大阪城内の庭

多くの観光客で賑わう大阪城だが、その中であまり多くの人々がそれを目的として訪れないスポットとして庭がある。大阪城には、本丸内「日本庭園」、豊国神社境内「秀石庭」、西の丸庭園内「豊松庵」の茶庭などがあるが、本丸「日本庭園」は大阪市土木部初代公園課長で、宮内省勤務時代は赤坂離宮の庭園などを手掛けた椎原兵市氏による作品である。また、「秀石庭」は昭和の作庭家重森三玲氏の作庭によるものである。そして大阪城西の丸庭園内の「豊松庵」は松下幸之助氏の寄贈による茶室で、これに付随する茶庭が設えられている。

以降に城内の各庭園について由来を説明する。

### 1) 大阪城の庭「本丸日本庭園」～武士の城から市民の公園へ～

豊臣秀吉の築城から、徳川幕府の城として武士が管理した大阪城は維新により官、そして陸軍が管轄することとなる。大正時代に大大阪へと発展した大阪市は、近代都市として発展する中、人口の過密、公害など種々の問題対策や緑地化の一端として市内における公園整備が進められた。

大阪城も市民の集う中央公園として計画、整備され、時代のニーズに合わせてその容態が変化し、現在は大阪の重要な観光スポットとして集客を担っているが、まず大阪城が公園として整備された流れを追いながら、「本丸日本庭園」の位置づけを確認する。

1920年（大正9年）武田五一氏の推挙により大阪市都市計画部に任ぜられた椎原兵市氏は就任当時「近き将来において大阪の中央公園たらしむべき理想の下に設計したもので、雄大な歴史的記念物たる城跡を利用して大都市に相応しい壮重な美観と儀容とを備えたい」（『現代庭園図説』）という趣旨から『大阪城跡公園設計案』を立案した。大阪城本丸、二の丸のほか、現追手門学院の敷地と、現大阪府庁舎、現大阪府警本部、現大阪歴史博物館をも含む広い範囲において、当時城内にあった多数の陸軍施設を一切取り除いた計画で、記念館、博物館、美術館、簡易図書館、社交館、武徳館、植物園、音楽堂、運動場などの施設が城内にびっしりと盛り込まれていた。

1924年（大正13年）に大阪市土木部公園課の初代課長となった椎原兵市氏は昭和の御大典記念事業として大阪城天守閣復興と同時に進められた大阪城公園の新設に多岐に尽力する。この中で当時本丸内にあった元紀州御殿に附属する日本庭園は、「京都二条離宮の名園にヒントを得て、御殿建築に相応しく築いた庭園」（『椎原兵市の作品と業績』）としている。

陸軍により1885年（明治18年）に和歌山城から移築された建造物は大阪城本丸で紀州御殿として利用され、1931年（昭和6年）には天皇の御在所である「天臨閣」と呼ばれた元紀州御殿附属の庭園が「在来の平庭を築山林泉風に改造したもの、中央に鶴翼型の泉池を湛え、背面に築山を廻し、瀑布をかけ、溪流を造り、このみは純日本式」（『大阪城』大阪市役所 昭和6年）で作庭された。

戦後1948年（昭和23年）に立案された「大阪城公園設計案」では、「滅損しつつある城跡を旧態に復興して、史跡を顕彰し、城跡公園として相応しい内容とすること、また城郭建築美をいやが上にも発揮せしめるということを主眼とし、本丸地区は地方観光客を目的に計画〜」（『椎原兵市の作品と業績』）されたものであった。

多数の来城者に対して鑑賞し得る景観を整えているこの純日本式庭園は、現在の国内観光客はもとより、海外からの観光客をも誘引する観光資源に成り得ると考える。

### 2) 大阪城の庭「秀石庭」～重森三玲の庭～

秀石庭は、1972年（昭和47年）京都林泉協会の40周年記念事業として豊国神社境内に

作庭寄贈された。作庭者は京都林泉協会の創設者重森三玲氏である。

この「秀石庭」は、『日本庭園史大系 現代の庭（四）』（重森三玲・重森完途著）によれば、かつて大阪城の地が石山の地であったとされることから、豪快な石組本意の作庭による蓬莱式の庭をテーマとし、豊国神社のご祭神が豊臣秀吉であることから、豊公説話に有名な千成瓢箪を地模様としてモダンな現代新感覚に生かすことをテーマとしている。また、商都大阪の発展を支えた大阪港という海洋の表現を設計に入れ、神社本来の上古的な磐座や磐境にみる清浄無垢純真潔白な枯山水としての表現構成が意図され、かつ豊公の豪快な性格を基本とすることをテーマとしている。

つまり、大阪の地形や歴史やゆかりの人物などを考慮したテーマにおいて庭が設計されているのである。

三玲氏が当時「明治中期以来の煙の都と化した大阪市には、庭木すら育ち難い場所となり趣味性の上からはゼロの町となった」と述べているように、工業都市発展の犠牲と、第二次世界大戦の被害により古来からの庭が消滅していく中で、特別史跡大阪城に寄り沿う新たな芸術空間である庭が創設されたことは大変貴重である。

（豊国神社庭園への入園は予め申込みが必要。但し、塀の外側より全体を鑑賞すること可）

### 3) 大阪城西の庭園「豊松庵茶庭」

西の丸庭園は、1965年（昭和40年）有料庭園として開園された。1969年（昭和44年）松下幸之助氏の寄贈により茶室「豊松庵」が設置され、茶庭より天守閣を臨むことができる。なお、松下幸之助氏はこれ以外にも多くの茶室を寄贈されており、大阪市内には他に四天王寺本坊東の「極楽浄土の庭」の中にも茶室を寄贈されている。「極楽浄土の庭」は仏教の「二河白道」をテーマとした作庭で、その意味を感じながら庭の景観を鑑賞することが楽しめる。

（豊松庵茶室の使用は許可申請が必要。有料）

## 3. 大阪の庭～重森三玲氏作庭の作品～

大阪の庭の紹介では、今回は作庭家「重森三玲氏」の作品に注目し、紹介する。京都における三玲氏の庭はかなり周知されているが、手がけた作品数は、京都に次いで大阪が二番目に多い。大阪での作品は個人邸が多く、今回紹介する庭も非公開もしくは条件付き公開のところもあるが、「秀石庭」以外の、大阪に存在する三玲氏作庭の一部を以下に紹介する。

### 1) 岸和田城「八陣の庭」

岸和田城天守閣の正面の庭。1953年（昭和28年）完成。永遠に保存できる設計を第一とし、永遠の人々の鑑賞を必要とすることから、上空から俯瞰的鑑賞を意図した設計とし、城郭庭園というテーマより、室町期以前の城砦の地取を参考としている。

また、諸葛孔明の「八陣法」から「天地風雲竜虎鳥蛇」を石組みにより抽象的にデザインし、枯山水として作庭。石は和歌山市沖ノ島の緑泥片岩を使用。なお、八陣法は敵を攻める陣形ではなく、平和確立のために外敵から守る陣形であり、平和を念願とする本来の意味を構成している。（『日本庭園史大系 現代の庭（三）』重森三玲・重森完途著 参考）

（岸和田城入場料要）

### 2) 以楽苑

大阪府枚方市香里。1962年（昭和37年）完成。1955年（昭和30年）7月日本住宅公団の発足とともに、枚方市香里の旧陸軍弾薬庫跡の国有地45万坪が住宅団地に決定し、香里団地として建設された。この地の北部に保存されていた自然の池を利用し、かつデフォルメして四季自然を主体とする日本庭園としての構成を完成。「池庭北部の築山付近」は、北方の一番大きい築山部の石組みで、現代化された蓬莱的要素を持っている。（『重森三玲作品集』重森三玲著 より抜粋）（年二回一般開放。無料。常時は苑外より鑑賞可。）

### 3) 井上家庭園「巨石壺(コセキコ)」(非公開)

大阪市生野区。1940年（昭和15年）完成。大阪市指定名勝。京都における重森三玲氏の代表作、東福寺本坊及び塔頭寺院の庭が作庭された後、徳島城庭園及び阿波国分寺の庭



を調査された三玲氏はその影響を受け、その後の作風が大きく変化する。徳島の庭園調査の翌年に作庭された井上邸「巨石壺」は三玲氏の特徴となる青石の立石組構成で表現され、三玲氏作風の新エポックの先駆けとして造られた。三玲氏作品の変革期の代表作がこの大阪市に存在することは大阪市にとっても貴重である。

#### 4) 少林寺庭園（非公開）

大阪市中央区。臨済宗妙心寺派 萬松山少林寺。寛永八年（一六三一年）創設。境内の庭は1954年（昭和29年）作庭。青石を使った七五三石組の枯山水形式である。本庭園は一時期作庭の由来が引き継がれていない状況であったが、重森三玲氏の作庭であることが再認識され、保存の意識が高まっている。

『近代の庭園・公園等に関する調査研究報告書』（平成24年6月 文化庁文化財部記念物課）では、「保護の必要性が十分に検討されないまま、都市化及び再開発によって消滅又は改変の危機に瀕している近代の庭園・公園等も数多く存在する」とあり、それらの保存及び活用のための措置を講じる上での調査研究の中で、和風庭園の著名な作庭家の一人として重森三玲氏が挙げられている。

庭の維持管理は所有者または管理者に委ねられることになるが、大阪における庭においても、現存する庭の評価と、消滅の危機に瀕している庭の再認識が望まれる。

### 4. 提言

#### 1) 大阪城の庭における提言～秀石庭の借景～

大阪城二の丸豊国神社境内「秀石庭」は作庭された当時、周りの樹木は今ほど成長しておらず、庭の北西の方向に「一番櫓」を臨むことができた。城内の緑化、野鳥の休息場として樹木を減らすことはそれぞれの側面において適切ではないかも知れないが、「秀石庭」石舞台より「一番櫓」を借景として臨むことができるようにした場合、大阪城の庭として特徴のある庭となり得ると考える。

#### 2) 大阪城の庭における提言～本丸日本庭園の燈籠型照明と滝～

1931年（昭和6年）に元紀州御殿の附属庭園として整備された際には、師団司令部の残土をもって築山が築かれ、庭園を回遊できるように造られたが、当時の龍山石製燈籠型照明は機能を失くし、瀑布のかかる滝は溪流を常に流しているとは限らない。この燈籠型照明と滝を復活させ、回遊路を整備することで、日本庭園を更に楽しめることと考える。

### 5. おわりに

大阪ではあまり観光資源として注目されることの少ない「庭」であるが、大阪城や岸和田城のように既に観光スポットとして集客が確保されている場所での再認識や、近年「現代の作庭家」として評価されている重森三玲氏の庭紹介などにより、大阪の多面的魅力をもって観光資源となることを期待している。

#### <参考文献>

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 『椎原兵市の作品と業績』1966年     | 『建築と社会第15巻第7号』日本建築協会 1932年    |
| 『現代庭園図説』椎原兵市 1924年    | 『日本庭園史大系 現代の庭』重森三玲・重森完途       |
| 『重森三玲作品集』重森三玲 1964年   | 『重森三玲—永遠のモダンを求めて—』重森千青 2007年  |
| 『大阪城』大阪市役所 1931年      | 『日本庭園鑑賞便覧』京都林泉協会 2002年        |
| 『重森三玲II』重森三明 2010年    | 『名勝に関する総合調査』文化庁文化財部記念物課 2013年 |
| 『図解雑学 日本庭園』重森千青 2010年 |                               |

# 忠臣蔵番外編「大坂の段」

湯川 敏男

## 【目的】

一昔前まで、年末になると、芝居や映画に「忠臣蔵」が掛かり、現在でも、テレビニュースで赤穂義士が眠る東京高輪の泉岳寺や赤穂市の花岳寺、大石神社の祭典で討ち入り装束に身を固めた時のスターが大石内蔵助くらのすけなどに扮し行列する「義士祭」の様子が放映される。これは、赤穂四十七士が江戸本所の吉良屋敷に討ち入り、主君浅野内匠頭たくみのかみの仇である吉良上野介こうずけのすけを討ち本懐を成し遂げた12月14日に合わせて実施される行事である。この義士祭は大阪においても天王寺区きんじょうじの吉祥寺で毎年催されている。

調べてみると大阪にも、忠臣蔵ゆかりの地と人物がたくさんあることが判明した。

これらを地域ごとにグループ化し巡る「忠臣蔵ゆかりの地と人物を巡る探訪コース」を提言することを本研究の目的とする。

## 【内容】

「忠臣蔵ゆかりの地と人物を巡る探訪コース」として人物については討ち入り前に自害した萱野三平かやの、親に代わって義士になった矢頭右衛門七やとうえもしち、歌舞伎などの虚（虚構）から実（実話）になった天野屋利兵衛、そして討ち入り後も生き残った寺坂吉右衛門の4名を取り上げ、その人物に関わるエピソードとともに関連史跡を紹介する。

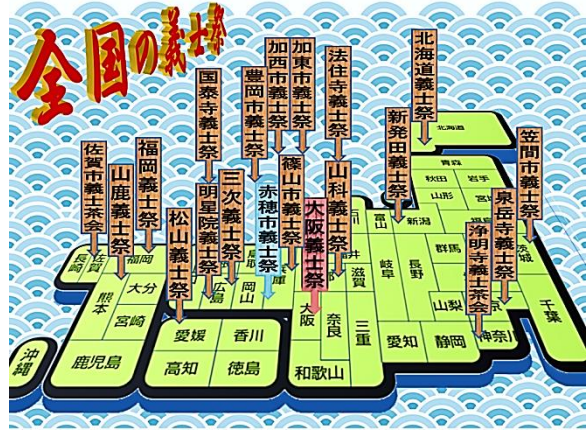
また、大阪府下各地に分散する関連史跡については箕面市萱野郷に残る萱野三平旧宅を中心とした《北摂エリア》、大阪市北区の矢頭右衛門七の墓がある浄祐寺じょうゆうじを中心とした《大阪市きたエリア》、大阪府中央区の東横堀川に架かる大手橋付近に点在する天野屋利兵衛関連史跡を巡る《大阪市なかエリア》、大阪市天王寺区にある寺坂吉右衛門が建碑を依頼した赤穂四十七士の墓が残る吉祥寺を中心とした《大阪市みなみエリア》、最後に上記エリアに含まれない赤穂四十七士の墓の一部が残る一運寺、内匠頭の宿泊の記録が残る郡山宿本陣（椿の本陣）などを《その他エリア》として提言する。

## 【結果】

今年度は、『忠臣蔵番外編「大坂の段」』と題して大阪にある忠臣蔵ゆかりの地と人物を研究テーマに進めたが、赤穂事件は実際にあった事件であるが、事件の発端の松の廊下での刃傷の原因からして謎であり、その後、人形浄瑠璃（文楽）や歌舞伎の演目として脚色、創作が入り、虚と実が入り混じった研究報告となった。今後さらに引き続き、研究を進めていきたい。昨年度の『蔵屋敷の神さん今どこに』でもそうであったが昔の文献に記載があるものの今次の戦災で亡くなった史跡が余りにも多いのに愕然とした。

## 1 大序. 前口上

義士祭は、北は北海道から南は九州熊本まで、全国各地で催され、大阪でも、黒と白の三角形の段だら模様きつしやうじの築地塀きつしやうじでお馴染みの天王寺区六万体町の吉祥寺で毎年催されている。また、大阪は、江戸と赤穂を結ぶ往還（東海道+西国街道+山陽道）の中間地点に位置し、瀬戸内海と淀川や大和川との結節点であり、舟運の要の地で、中之島に存在した諸藩の蔵屋敷の一つに赤穂藩もあり、「忠臣蔵」と関わり合いがある地が点在し、ゆかりの人物も頻りに往来した。



以下に大阪の忠臣蔵ゆかりの人物をそのエピソードとともに記載し、そのゆかりの地を巡る探訪コースを地域ごとに紹介する。

『東西トウサイ東西トウサイ〜！ここもど御覧ごらんじます〜は、"忠臣蔵番外編「大坂の段」"に御座います〜。暫くの間、お付き合いの程ほどを御願ごんい奉たまります〜。』<♪チョン！>

## 2 段目. 元禄赤穂事件の段

江戸幕府は毎年正月、朝廷に年頭祝賀の使者を派遣し、その返礼として朝廷も3月に年賀答礼ちやくしの勅使きようおうやくを江戸へ派遣した。この勅使の饗応役きようおうやく（接待役）に播州赤穂藩主の浅野内匠頭長矩たくみのかみを、その指南役こうずけのすけよしなかに高家筆頭の吉良上野介義央が任命されていた。

事件の発端は、晴れの饗応最終日、1701年（元禄14年）3月14日に江戸城松の廊下で起った逆上した内匠頭が上野介に斬りつけた刃傷事件であった。内匠頭はその日のうちに切腹、赤穂5万3千石は没収、浅野家断絶、吉良家にはお咎めなしとなった。

この御家の一大事の第一報は、江戸から赤穂までの155里（約620キロ）を普通の旅人なら17日程かかるところを、夜を日に継ぐ早駕籠で、僅か4日半で赤穂に伝えられた。

主君を失い、お家断絶を伝えられた藩内では、籠城か開城、殉死か復讐で対立したが、城代家老大石内蔵助は、城を明け渡すことを決断し、一ヶ月後の4月19日に無血のまま開城し赤穂藩士は赤穂浪士となった。この時、内蔵助に従う者は僅か60～80名であった。

内蔵助は赤穂藩再興を図ったが受け入れられず、着々と仇討ちの計画を進めていった。

時に1702年（元禄15年）の主君の月命日の12月14日15日の午前4時夜、内蔵助以下四十七士は吉良邸へ討ち入った。夜も白み始めたころ、ようやく味噌倉（納戸：炭も保管）に潜む上野介を見付け、本懐を遂げた。その足で内匠頭の眠る泉岳寺に赴き上野介の御首級みしろしを墓前に捧げ、仇討ちを報告した。

その後、浪士たちは細川・松平・毛利・水野の4大家へお預けとなり、50日後の1703年（元禄16年）2月4日にお預け先でそれぞれ切腹、吉良家は断絶となり、のち主君と同じ泉岳寺に葬られた。

この事により赤穂浪士は赤穂義士と云い伝えられることとなった。

余談ながら、「忠臣蔵」は、「蔵いっぱいおんなの忠臣」や内蔵助の「蔵」に掛けたもの。『仮名手本忠臣蔵』は、習字のかな手本の「いろは47文字」と「赤穂義士47名」の符合、いろは歌を7字毎に区切って最後尾を順に読む「咎無くて死す」の暗号が込められている。



吉祥寺・大石内蔵助像

## 3 段目. 忠臣蔵銘々の段

大阪に関連する忠臣蔵ゆかりの人物の中から今回は以下の4名を取り上げる。

### ①萱野郷の場…萱野三平（討ち入り前に自害した人物）



事件の第一報を赤穂に伝えた早駕籠の使者の一人として萱野郷(現 箕面市萱野)出身の萱野三平が乗っていた。三平が途中、西国街道沿いの生家前を通過する日に前日の3月17日に亡くなった母小満の葬儀に出会うが、涙ながらに掌を合わせて赤穂へ注進した。赤穂城引渡しの後、討入りの義盟に加わっていた三平は生家へ戻り、討ち入りの時期を待っていた。この折、父から新たな仕官の話があり、父に対する孝と、主君浅野内匠頭への忠との板挟みに悩み苦しんだ末、討ち入りの11ヶ月前の1702年(元禄15年)の主君の月命日の1月14日に三平は生家長屋門の一室で実父と内蔵助に遺書を残し、27歳を一期として生涯を閉じた。



萱野三平旧邸長屋門

三平の萱野郷の実家は現在長屋門と土塀の一部が残され、自刃部屋などが当時のままとされており、彼の俳号涓泉を冠した萱野三平記念館「涓泉亭」として公開されている。

### ②浄祐寺の場…矢頭右衛門七(親に代わって義士になった人物)

浪々の身の矢頭一家は、大坂堂島新地に借家し、決行の準備をしていたが、討入りの義盟に加わっていた父親の長助が病で寝たきりとなり、江戸、赤穂との連絡、山科や円山の会議には部屋住み身分の矢頭右衛門七が代理として出席した。1702年(元禄15年)8月15日、父が死去し、右衛門七17歳のとき義盟を引き継ぐことになった。9月7日、江戸へ出立の砌、里人に銭5貫文(1両1分=1¼両)を借金し、後日大石内蔵助が5両も返金している。



矢頭親子の墓  
右衛門七 長助

長助の墓所は天王寺覚心院あったが、その後、同寺は改宗移転して上福島(現 北区堂島)の浄祐寺となり現在に至っている。境内には父の墓と共に右衛門七の墓(供養塔)が建立されている。また、同寺の西に当時あった梯搦寺の北に大石内蔵助の大坂での仮寓居が一時あった。ここから梅田橋、田蓑橋を渡れば中之島にある赤穂藩蔵屋敷へは直ぐであった。

### ③思案橋(現 大手橋)の場…天野屋利兵衛(虚から実になった人物)

天野屋利兵衛は人形浄瑠璃、歌舞伎、落語の天川(河)屋義平のモデルで、浪曲、講談ではそのまま天野屋利兵衛として登場し、赤穂事件当時、大坂北組惣年寄を勤める商人で東横堀川に架かる思案橋東詰で本店を構え廻船問屋を営んでいた実在の人物であった。



伝承では大石に柄の短い手槍20本(諸説あり)を都合し、その件で大坂西町奉行所においての厳しい取調を受け、あの有名な『天野屋利兵衛は男でござる』の科白を吐き大向うを唸らせ、義商と称えられた。歌舞伎では討入りの合言葉も「天」と「川」になっている。しかし、天野屋は実際には赤穂藩とは無関係の人物であったが、時代が重なるにつれて虚から実になり、四代目天野屋は菩提寺の住吉の龍海寺に四十七士の墓や五十一体(義士と内匠頭、三平など)の木像を建立した。太平洋戦争直前の昭和15年に利兵衛の商家があった場所に近い大坂西町奉行所跡地に「義侠 天野屋利兵衛之碑」が建碑されたりした。

なお、龍海寺は明治維新の際に廃寺となり、大石親子と寺坂の三基の墓のみが住吉の一運寺に残る。また木像の方は天王寺茶臼山の観音寺に移されたが今次の戦災で焼失した。

また、天野屋のモデルは他に天川屋利兵衛や赤穂藩御用商人綿屋善右衛門も知られる。

### ④吉祥寺の場…寺坂吉右衛門(討ち入り後も生き残った人物)

吉良邸討ち入りの義挙に参加した寺坂吉右衛門は、討入り後、内蔵助の特命を帯びて同士一行と分かれ内匠頭の奥方瑠泉院に本懐の旨を伝え、本家の広島浅野家へも事の仔細を報告している。その後、それぞれの義士の家族などに活躍を報告するために、東は宮城県、

西は鹿児島県に出向いている。また、寺坂は江戸では幕府に遠慮して建碑できないため、四十六士の遺髪、遺爪、鎖帷子等に銀10両を添えて浅野家の大坂での菩提寺であった吉祥寺に義士たちの冥福のための建碑を依頼した。

これにより1739年(元文4年)に江戸や赤穂に先がけ、赤穂四十六士の墓が建立されている。中央の五輪塔が浅野内匠頭の墓で、向かって右側に内蔵助、左側に子の主税、その周りに残る四十四士の戒名と行年を刻んだ玉垣形の墓石が取り囲んでいる。なお、寺坂吉右衛門の墓石も後年、玉垣の一つに加えられている。



#### 4 段目. 忠臣蔵ゆかりの地と人物を巡る探訪コースの段 (詳細は別冊を参照のこと)

##### ①北摂エリア (三平を偲ぶコース)

箕面市萱野郷の萱野三平旧邸 (涓泉亭…萱野三平記念館) や箕面市、豊中市に存在する萱野三平の墓などを巡る探訪コース。

##### ②大阪市きたエリア (右衛門七と内蔵助、赤穂藩の足跡を巡るコース) ②③④は組合せ可

北区の浄祐寺にある矢頭右衛門七と右衛門七の父長助の墓、浅野家蔵屋敷跡、円通院の内蔵助の父大石権内良昭の墓、福島区の大石内蔵助寓居跡などを巡る探訪コース。

##### ③大阪市なかエリア (天野屋利兵衛の虚と実を巡るコース) ②③④は組合せ可

中央区の大手橋から本町橋周辺に点在する「義侠 天野屋利兵衛之碑」、天野屋敷跡、大坂西奉行所跡、牢屋敷跡 (現中大江小学校)、天川屋利兵衛と義士大高原吾が眠る薬王寺などを巡る探訪コース。

なお、西町奉行所は当初京橋口 (現 大手前合同庁舎) の所に東町奉行所と並んで存立していたが、1724年(享保9年)の妙知焼後本町橋詰 (現 マイドームおおさか) に移っているため赤穂事件当時は本町橋詰に西町奉行所はなかった。この事からも利兵衛の話は虚構と分かる。



##### ④大阪市みなみエリア (忠臣蔵実感コース) ②③④は組合せ可

毎年12月14日に「義士祭」が行われ、赤穂四十七士の墓と石像などがある天王寺区の義士寺吉祥寺や赤穂四十七士の木像あった観音寺などを巡る探訪コース。

##### ⑤その他エリア

上記①～④以外の一運寺、心願寺、郡山宿本陣 (樺の本陣)などを巡る探訪コース。

#### 5 段目. 納口上

『この度の発表では、パソコン採りの不得手に加え、文章もお読み難いと存ねるが、どちら様におかれましても、よろしくお付き合い下され、御礼申し上げる次第で御座います～。何卒、いずれの皆様も今後ともご声援のほど、末永く宜しく陽から陽までずずずい～とく♪チョン!>御願ひ奉り～ま～す。東西、東西。』

#### <参考文献>

- ・『決定版「忠臣蔵」のすべて』(歴史読本 臨時増刊) 新人物往来社 1992.12
- ・文藝春秋デラックス『目で見る日本史 忠臣蔵の元禄』 文芸春秋社 1975.1
- ・『宮本又次著作集 第8巻 大阪町人論』 講談社 宮本又次 1977.4
- ・『大阪史蹟辞典』1986.7、『大阪人物辞典』2000.11、『大阪伝承地誌集成』2008.5 清文堂 三善貞司
- ・『天野屋利兵衛傳』 江崎政忠 印刷工廠 1940.12 ・『郷土研究 上方』第108号 赤穂義士号 創元社 1939.12
- ・『大阪春秋』第145号 新風書房 2012. ・週刊『歴史のミステリー』第24号 DeAGOSTINI 2008.7

# 南河内に歴史ロマンを求めて

小西 豊信

## 【目的】

歴史と伝統の息づく地、南河内は神社仏閣・史跡等が多く、観光のみでなく古墳など学術的にも貴重な所であり、また訪れる人の心を癒すという面も持っている所でもある。こうした土地の魅力を紹介することで、南河内における観光事業のより一層の活性化を目的とする。

## 【内容】

南河内は広いため歩きやすいように、3つのコースに分ける。1コースは太子町、2コースは羽曳野市、最後のコースは富田林寺内町と千早赤阪村とし、併せて、これら地域で開催される祭やイベントをとりあげる。

ハイキングコースは、自治体等の観光ガイドブックに載っているものの、次のような傾向がある。①距離が長く、健脚向きのコースが多い。②距離は短い、厳しい坂道がある。③見るべき観光地が、コースに少ない。④コースに食事をとる場所の記載がない。こうした点を考慮して、無理なく観光地を楽しめるように、モデルケースとして上記の3コースを設定した。

大和で政治を執った聖徳太子の御廟は、なぜ河内にあるのか。太子廟には七不思議と言われる話がある。太子廟や推古天皇陵を見守るかのような小高い丘の上に、遣隋使として重用された小野妹子の墓があるのはなぜか。先に亡くなった竹田皇子と共に大和飛鳥（遠つ飛鳥）に葬られた推古天皇の御陵が河内飛鳥（近つ飛鳥）にあるのはなぜか。大和飛鳥の山田寺で自害した、持統天皇の祖父にあたる蘇我倉山田石川麻呂の古墳が河内飛鳥にあるのはなぜか。南河内には歴史ミステリーの興味がない。

## 【結果】

南河内は豊かな自然と歴史遺産に恵まれ、まさに歴史ロマンを求めて歩くのに、ふさわしい地である。そこで次のとおり2つの案を提案する。1案は歴史ロマンを求めて3つのコースを歩くとともに、祭やイベントに参加していただくこと。2案は祭やイベントの情報の連携である。イベントに来られた人をその日だけに終わらせるのではなく、来られた人に各地で開催する予定の、祭やイベントを記載したパンフレットを配布するのである。1つのイベントに参加される方は、別のイベントにも参加してもらえることが期待できる。観光業務を担当する人達が協力して、イベント等の情報をわかりやすく整理したパンフレットを作成するのである。経費が小さい割に、効果は大きいと考える。



## 1. 太子町コース（飛鳥の時代をゆく 約5km）

飛鳥時代は、聖徳太子や推古天皇、小野妹子らの活躍した時代であり、仏教文化を中心とした飛鳥文化の花が開いた時代でもある。このコースは、聖徳太子ゆかりの史跡や古墳などをめぐり、1400年前の昔に思いをはせることにある。

近鉄長野線「喜志」駅—（バス）→バス停「太子前」—1分→叡福寺—2分→聖徳太子御廟—4分→西方院—17分→鎌田邸の楠—15分→大道旧山本家住宅—3分→孝徳天皇陵—7分→太子町立竹内街道歴史資料館—4分→道の駅近つ飛鳥の里・太子（食事）—16分→科長神社—3分→小野妹子墓—14分→二子塚古墳—3分→推古天皇陵—9分→仏陀寺古墳—3分→バス停「御陵前」—（バス）→近鉄長野線「喜志」駅

### ①叡福寺

正式には磯長山聖霊院と号し、上ノ太子の名で親しまれている。寺伝によれば聖徳太子の死後、太子の墓を守護し追福するために、推古天皇により創建されたものという。国の重要文化財の指定を受けた聖霊殿、多宝塔をはじめ、金堂など十数棟の葺が並ぶ。

### ②聖徳太子御廟

聖徳太子は、推古天皇の摂政となり、十七条憲法や冠位十二階の制定、遣隋使の派遣など隋と国交を開き、進んだ政治制度や文化を取り入れた。聖徳太子御廟は太子自身と太子の母 穴穂部間人皇后と妃の膳郎女が葬られており、三骨一廟と呼ばれている。太子廟の七不思議については、次のとおり。

- 〈1〉樹木が生い茂った御廟内には、松や笹が生えない。
- 〈2〉鳥が巣を造らない。〈3〉大雨が降っても御廟の土が崩れない。
- 〈4〉御廟を取り巻く結界石は、何度数えても数が合わない。
- 〈5〉メノウ石に太子の御記文が彫られたものが太子の予言どおり発見された。
- 〈6〉御廟の西にあるクスノキは、母后を葬送したときに、太子自ら棺をかついだ楠の轆（ながえ）を挿したものが芽をふき茂った。
- 〈7〉894年（寛平6年）、法隆寺の康仁大徳が御廟内を拝見した時、太子の着衣は朽ちていたが、その遺骸は生きてるように温かくやわらかかった。

### ③科長神社

平安時代の延喜式に記録された、太子町で唯一の式内社。級長津彦命、級長津姫命など8柱を祀るため、八社大明神とも呼ばれている。

### ④小野妹子墓

7世紀の始め、推古天皇の時代、聖徳太子が中国の隋へ使者として送った遣隋使。小野妹子墓と伝えられる小塚は、科長神社の南側の小高い丘の上にある。

### ⑤推古天皇陵

日本で最初の女帝、第33代推古天皇と、その子、竹田皇子の合葬陵とされている。先進的な政治制度や文化を積極的に取り入れ、内政改革を進め仏教文化を中心とした飛鳥文化の基礎を築いた。

### ⑥仏陀寺古墳

仏陀寺境内のすぐ隣にあり、中大兄皇子に協力して「乙巳の変」を成功させた蘇我倉山田石川麻呂の墓とされる。1972年（昭和47年）大阪府指定史跡となる。



## 2. 羽曳野市コース（源平の時代をゆく 約3 km）

源頼信は河内源氏の祖とされ、その子孫は源頼朝へと続く。このコースは、国指定の史跡である源頼信、源頼義、源義家の源氏三代の墓や、河内源氏ゆかりの壺井八幡宮、通法寺跡をめぐり源平の時代のロマンを感じることにある。

近鉄南大阪線「上ノ太子」駅→20分→壺井八幡宮→7分→通法寺跡→3分  
→源氏三代の墓→22分→泥掛地蔵→5分→まいてん（食事）→2分→バス  
停「太井川」→（バス）→近鉄長野線「喜志」駅

### ⑦壺井八幡宮

1064年（康平7年）、前九年の役で戦勝凱旋した源頼義と義家父子が、私邸の東側に社殿を造営し、河内源氏の氏神である石清水八幡宮の神霊を勧請したのが始まりで、これより源氏棟梁の河内源氏の総氏神となる。

### ⑧通法寺跡・源頼義墓

河内源氏の氏寺であった通法寺境内に源頼義の墓がある。通法寺は、1043年（長久4年）に建立、源氏の没落とともに衰退するが、江戸時代に徳川綱吉が再建。1873年（明治6年）廃寺となり、今では山門と石垣と鐘楼を残すのみ。

### ⑨源氏三代の墓

通法寺境内に源頼義の墓。通法寺の前面には御廟谷の丘陵があり、丘陵上には源頼信と源義家の墓がある。一帯は河内源氏の発祥地であり、河内源氏の歴史を伝える遺跡として、1957年（昭和32年）に国の史跡に指定。

## 3. 富田林寺内町・千早赤阪村コース（太平記の時代をゆく 約4 km）

このコースは、歴史的な景観が味わえる富田林寺内町と、楠公さんゆかりの史跡をめぐり、その時代のロマンを感じることにある。

近鉄長野線「富田林」駅→6分→富田林寺内町・八町茶屋（食事）→6分→  
近鉄長野線「富田林」駅→（バス）→バス停「赤阪中学校前」→5分→  
下赤阪の棚田→19分→楠公産湯の井戸→3分→楠公誕生地石碑・千早赤阪村  
立郷土資料館・道の駅ちはやあかさか→6分→奉建塔→9分→建水分神社→  
20分→カタロ（食事）→1分→バス停「森屋」→（バス）→「富田林」駅

### ⑩富田林寺内町

富田林寺内町は、旧杉山家住宅、仲村家住宅など、個々に文化財として価値の高いものがあり、町そのものが日本の優れた文化遺産として、大阪府で唯一、1997年（平成9年）国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

### ⑪下赤阪の棚田

千早赤阪中学校の裏に「史蹟 赤坂城址」の石碑が建っており、この高所から西に広がる棚田は、1999年（平成11年）に農林水産省が選定した「日本の棚田百選」の一つに数えられる。

### ⑫楠公誕生地石碑

楠木正成誕生の地という伝承が残る場所。大久保利通が1875年（明治8年）この地を訪れ史跡の保護と顕彰をすすめて、誕生の地に石碑を建立する。毎年、正成公が誕生された日と伝えられる4月25日は、石碑前広場で楠公祭が開催される。

#### 4. コースの比較

次の表は、設定したコースで開催されている祭やイベントをまとめたものである。この表以外にも、太子町の道の駅では「ぶどう祭り」や「感謝祭」が、富田林寺内町では「石上露子生誕祭」や「じないまち古書散歩」が開催されるなど、南河内は四季を通して賑っている。

各コースの比較

	1. 太子町コース	2. 羽曳野市コース	3. 富田林寺内町コース 千早赤阪村コース
① 最寄駅	近鉄長野線 喜志駅	近鉄南大阪線 上ノ太子駅 近鉄長野線 喜志駅	近鉄長野線 富田林駅
② 食 事 買 物	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹内街道沿いの道の駅「近つ飛鳥の里・太子」では休憩や軽食、お土産も買える。「おこわ」や「山菜弁当」、春なら山菜、朝掘り筍など安くておいしい季節には、特産の「ぶどう」や「みかん」が並び「太子ワイン」も購入できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太子町内にある泥掛地蔵を過ぎてすぐの所の「オムライス弁当まいてん」は、お持ち帰り専門であるが、一度は食べたい。</li> <li>「まいてん」近くの好月堂の太子最中は、ゆずあんが美味しい地元の老舗和菓子店。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者の休憩場所や情報の提供を目的に、じないまち交流館が開館している。この交流館前に食事処「八町茶屋」が営業している。手打そばと、河内名物の「赤ねこ餅」がおいしい。</li> <li>喫茶・軽食等の店、太平記の里「カタロ」は、バス停「森屋」が近くにあり、交通の便利が良い。</li> <li>道の駅「ちはやあかさか」では、地域で採れた野菜や果物が並ぶ。また、史跡めぐりの出発点として車をここに置いて楽しむのに良い。</li> </ul>
③ イ ベ ン ト ・ 祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>叡福寺大乘会式（太子まいり） 毎年4月11日 12日</li> <li>太子聖燈会 毎年4月中旬の 土曜日・日曜日</li> <li>道祖祭 （小野妹子墓前） 毎年6月30日</li> <li>科長神社 夏祭り 毎年7月の 第4土曜日 日曜日</li> <li>竹内街道灯路祭り 毎年10月中旬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通法寺跡 お花見（桜） 軽トラ市 毎年4月</li> <li>壺井八幡宮 壺井八幡宮例大祭 毎年5月15日</li> <li>壺井権現社例大祭 毎年10月 17日</li> <li>弓馬術礼法小笠原 教場 奉納神事 毎年5月 又は6月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寺内町四季物語春 「じないまち 雛めぐり」 毎年3月中旬</li> <li>寺内町四季物語夏 「寺内町燈路」 毎年8月下旬</li> <li>寺内町四季物語秋 「後の雛まつり」 毎年10月中旬</li> <li>寺内町四季物語冬 「新春初鍋 めぐり」 毎年1月中旬</li> <li>建水分神社 春祭り （通称 くすのきさん） 毎年4月25日</li> <li>楠公祭 （楠公誕生地石碑前） 毎年4月25日</li> <li>建水分神社 秋祭り （だんじり祭り） 毎年10月 第3土曜日 日曜日</li> <li>棚田夢灯り 収穫祭 （棚田のライトアップ） 毎年11月上旬</li> </ul>

#### 5. おわりに

私の住む大阪狭山市では、昨年5月2日と3日に「狭山池まつり」が開催されたが、いつもの静かな散歩道は、驚くほどの混雑であった。約3kmの池の周りを歩く人の多くが、祭のために作られたパンフレットを手に入れている。イベントに来る人に、他の地域のイベントや祭、観光地を紹介したパンフレットを配れば結構、そこへも来てもらえるのではないかと考えたのはこの時である。パンフレットは机の上に置けば、興味のある人が持って行ってくれる。適宜、補充すれば良いだけである。

# 大阪の銀行を巡り大阪の歴史文化を探る

柳原 信雄

## 【目的】

明治時代に設立された大阪の銀行は、当時の大阪で活動していた多くの実業家が関わっており、又銀行が設立された場所も、船場地区の商業中心地が多く、ゆかりの地を巡ることによって、銀行跡地界隈の名所旧跡の再確認、銀行の変遷状況、関わった人物など、大阪における銀行歴史の新たな発見をすることが目的である。

銀行跡地は昔も今も交通至便な場所に位置しており、銀行を巡る散策コースを作成し大阪観光に役立てたい。

## 【内容】

- ① 大阪発祥の嘗ての都市銀行、住友銀行（現三井住友）、大和銀行（現りそな）、三和銀行（現三菱東京UFJ）の銀行跡地を巡り、銀行歴史の変遷、跡地の現状を調査、併せて跡地に関連する事柄についても調査を実施した。
- ② 名前の消えた大阪の主な銀行のその後（後継銀行 跡地）を調査。
- ③ 朝のテレビ連続ドラマのモデル広岡浅子が関わった加島銀行について調査。
- ④ 銀行に関わった人物（住友吉左衛門、野村徳七、岡橋治助）について調査。

## 【結果】

### （提案）

- ① 大阪企業家ミュージアム前に広岡浅子をイメージした彫刻を設置する。（制作は流政之氏に依頼）広岡浅子の人気効果もあり、大阪観光誘致への貢献が期待できる。加えてミュージアムの来館者増加にもつながる。

[流政之氏は世界的な彫刻家であり、大同生命設立功労者 中川小十郎の子息]

- ② 銀行跡地の公開空地表示板を有効活用する。（銀行の歴史を説明した写真付パネルを、表示板の横に設置）現状は銀行跡地の大半が、跡地についての説明がなく、パネルを設置することによって、大阪の歴史文化への関心が高まる。
- ③ 銀行巡りの散策マップの作成

名前の消えた銀行跡地、界隈の名所旧跡も入った散策マップを作成する。

今後は消え去った大阪発祥銀行の遺構調査を中心に、研究を続けていきたい。

### （参考文献など）

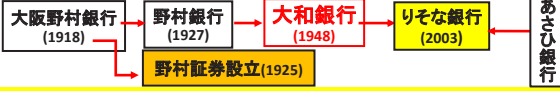
住友銀行史 三和銀行史 大和銀行史 協和銀行史 富士銀行史 大同生命社史  
銀行変遷データベース サンワのあゆみ 銭高組社史 第一勧業銀行史  
大阪経済人と文化（宮本又次）北浜五丁目十三番地まで（小西隆夫）  
大阪春秋（28号 36号 71号 133号 141号 150号）中央区史跡文化事典

## 銀行名の変遷

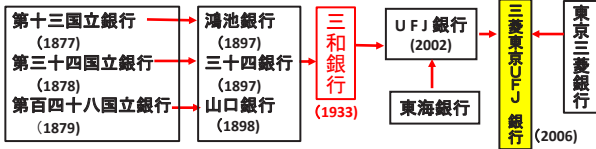
住友銀行 江戸時代からの銅精錬業 住友家がルーツ



大和銀行 野村徳七(二代目)が証券業で財を成し設立



三和銀行 (鴻池家) (岡橋治助他) (山口家)がルーツ



## 住友銅吹所跡(中央区島之内)

1636年(寛永13年)鰻谷に銅吹所設置  
その後本店と居宅を  
浪路町から移転  
1875年(明治8年)本店を富島に移転  
翌年銅吹所廃止



幕府は銅取引管理の為銅座を設ける



## 住友銀行の源流 富島町で並合業開始(西区川口)

1875年(明治8年) 富島出店を住友本店とし  
富島渡の付近で並合業を開始  
1895年(明治28年) 住友銀行を個人創業  
本店を中之島におく(倉庫業を兼営)  
1899年(明治32年) 倉庫部門を分離  
1901年(明治34年) 本店を今橋四丁目に移転  
1908年(明治41年) 本店を北浜五丁目に移転

住友倉庫設立  
その後川口倉庫竣工  
1929年(昭和4年)



- ① 富島渡
- ② 住友富島本店
- ③ 川口運上所跡
- ④ 住友川口倉庫

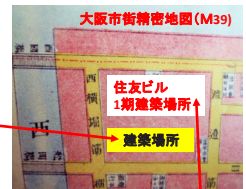


## 住友銀行本店(中央区北浜)

旧住友(仮)本店建物



仮本店に付  
木造で建築

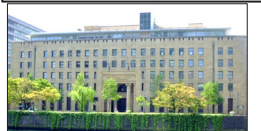


1908年(明治41年)仮の本店として建築  
1927年(昭和2年)関西大学本館として寄贈  
(建物を移築) その後取り壊されるが  
その建物をモチーフとした以文館が建築  
されている



住友本店

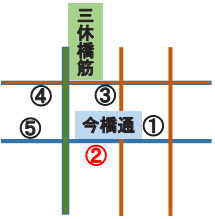
竣工 1期 1926年(大正15年)  
2期 1930年(昭和5年)  
設計 住友工作部 施工 大林組



## 鴻池銀行本店跡地(中央区今橋)



竣工 1924年(大正13年)  
設計 長野宇平治  
施工 大林組  
竹中工務店  
三和銀行史写真より



- ① 鴻池本宅跡  
(大阪美術倶楽部)
- ② 鴻池銀行跡地  
(現銀行関連会社ビル)
- ③ 北浜銀行跡地  
(トレードピアビル)
- ④ 適塾跡
- ⑤ 愛珠幼稚園  
(銅座跡)

## 鴻池新田会所内に銀行出張所設置



冠木門に掛けられていた看板



1896年(明治29年)  
第十三国立銀行 詰所設置  
1897年(明治30年)  
鴻池銀行出張所設置  
1923年(大正12年)  
鴻池新田駅前に移転  
支店に昇格





### 三十四銀行本店跡地(中央区高麗橋)

御堂筋 ⑥  
今橋  
高麗橋  
伏見町 ③

①三十四銀行本店跡地  
淀屋橋センタービル  
②第一銀行大阪支店跡地  
③百三銀行本店跡地  
④三和銀行本店跡地  
⑤大阪貯蓄銀行本店跡地  
⑥懐徳堂跡

竣工1904年(明治37年)  
設計 片岡安  
サンワのあゆみ写真より

第一銀行大阪支店 ②

正面の柱がみずほ銀行南船場支店前に残されている

建築学会写真より

### 山口銀行本店跡地(中央区瓦町)

1923年(大正12年)竣工  
設計 片岡安  
施工 竹中工務店  
三和銀行100周年  
アルバム写真より

旧山口銀行本店

### 三和銀行本店跡地(中央区伏見町)

現在建替工事中  
2017年(平成29年)  
完成予定

当地は大阪商工会議所跡地  
(サンワのあゆみより)

現三菱東京UFJ銀行瓦町支店

初代金頭五代友厚

### 旧三和本店跡地 新ビル施工業者の一社銭高組

株式会社三菱東京UFJ銀行大阪ビル建替工事  
大林・銭高・大末共同企業体

銭高組の社章と社名は野村胡堂が銭形平次創作のヒントとしたもの

御堂筋 ②  
伏見町 ①  
道修町  
平野町  
淡路町 ⑤

①旧三和本店  
大阪商工会議所跡  
②銭高組分室  
旧小西平兵衛邸  
③大阪ガスビル  
④御霊神社  
⑤謎の鳥居  
(境内地が売却され鳥居だけが残った)

伏見町の銭高組分室  
(旧小西平兵衛邸) ②

小西平兵衛寄進鳥居 ⑤

### 大和銀行の源流 野村両替店

1878年(明治11年) 初代野村徳七が農人橋詰町9に住宅兼店舗を構える 同年長男信之助が誕生  
1904年(明治37年) 信之助が家業を實質継承、証券業で財をなす

1906年(明治39年) 本町二丁目に店舗新築移転  
1907年(明治40年) 信之助家督相続(二代目野村徳七)

1912年(明治45年) 備後町二丁目に店舗新築移転  
(後年の野村ビルディング建築場所)

東横堀川  
松屋町筋  
本町通  
中央大通  
①  
②  
③  
④  
⑤

①大阪商工会議所  
②本町橋  
③大阪企業家ミュージアム  
④農人橋  
⑤野村両替店

農人橋 ④

### 大和銀行本店 (中央区備後町)

竣工 1924年(大正13年)  
設計 片岡建築事務所  
(安井 武雄)  
施工 竹中工務店  
野村徳七の意思により  
7階を有恒倶楽部  
(現大阪市立大学 有恒会)  
に会館として提供していた

旧大和銀行本店 ③  
大和銀行史写真より

現 りそな銀行本店 ③

堺筋  
①  
瓦町  
備後町  
安土町 ④

①山口銀行本店跡地  
(三菱東京UFJ瓦町支店)  
②白木屋跡地  
(野村第2ビル)  
③大和銀行本店跡地  
(りそな銀行本店)  
④野村証券本社跡地  
(野村不動産ビル)

旧本店の柱

### 大同生命の源流 加島銀行(西区江戸堀)広岡浅子が参画

1888年(明治21年) 鴻池と並ぶ豪商加島屋(広岡家)が加島銀行を設立  
初代頭取 広岡久右衛門正秋(NHK朝ドラ広岡浅子の義弟)

1902年(明治35年) 大同生命設立(朝日生命 護国生命 北海生命 合併)  
初代社長 広岡久右衛門正秋

1925年(大正14年) 大同生命ビル竣工

1929年(昭和4年) 加島銀行を 鴻池銀行 山口銀行 野村銀行に分割譲渡

1925年(大正14年)竣工  
設計 ヴォーリス  
建築事務所  
施工 竹中工務店  
サンワのあゆみ写真より

旧大同生命ビル

大同生命 名前の由来  
(小異を捨てて大同につく)

命名者 中川小十郎  
加島銀行理事  
(後の立命館大学創立者)

子息 流政之  
(世界的彫刻家)  
作品 あぼんだら獅子  
千里中央公園  
大和銀行が寄贈

広岡浅子の娘婿  
広岡憲三の妹  
一柳満喜子の夫

鞠公園 永代浜跡碑(西区鞠本町)



**大和田銀行**  
1892年(明治25年) 福井敦賀の実業家 **大和田荘七**が設立(本店は敦賀)  
1896年(明治29年) 大阪鞠に支店開設(西区鞠南通三丁目)  
1945年(昭和20年) 三和銀行が吸収合併  
俳優の**大和田伸也**  
大和田獏は荘七の子孫

大和田銀行の門柱を使用  
1953年(昭和28年建立)

建立者  
辻善之助 昆布問屋  
山中政七 經節問屋



補永神社




教實にある  
大和田荘七像

住友吉左衛門友純と天王寺



**住友吉左衛門友純**  
1865(元治元年) ~1926(大正15年)  
住友銀行史写真より

公卿 徳大寺公純の第6子  
実兄は西園寺公望  
1892年(明治25年) 住友家の養嗣子となる  
1893年(明治26年) 15代住友吉左衛門襲名  
1915年(大正4年) 茶臼山本邸を新築  
1921年(大正10年) 池上大阪市長に茶臼山本邸敷地寄付を申出(美術館建築を条件)



友純が寄付した慶沢園

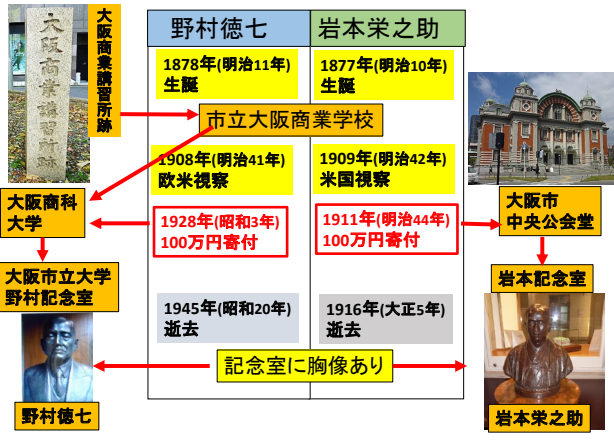


大阪市立美術館



堀越神社灯籠  
友純が堀越神社に寄進

野村徳七(野村銀行創業者)と岩本栄之助



**野村徳七** 1878年(明治11年) 生誕  
1908年(明治41年) 欧米視察  
1928年(昭和3年) 100万円寄付  
1945年(昭和20年) 逝去


**岩本栄之助** 1877年(明治10年) 生誕  
1909年(明治42年) 米国視察  
1911年(明治44年) 100万円寄付  
1916年(大正5年) 逝去

大阪商業講習所跡  
市立大阪商業学校  
大阪商科大学  
大阪市立大学野村記念室  
野村徳七

大阪市中央公会堂  
岩本記念室  
岩本栄之助

記念室に胸像あり

三十四銀行創業者の一人岡橋治助



**岡橋治助**  
1826年(文政8年) ~1913年(大正2年)  
サンワのあゆみ写真より

明治富豪評  
近代デジタルライブラリー(国立国会図書館)より

岡橋治助必ず  
赤切符を買う

鉄道客車に乗る際  
必ず三等車に乗る

一等車 白切符  
二等車 青切符  
三等車 赤切符

岡橋治助は富豪であったが、稀に見る  
儉約家であった  
儉約の逸話は数多い

木綿業者 奈良県出身  
三十四銀行初代頭取  
天満紡績 日本綿花 他  
30余の企業に関与

消え去った大阪の主な銀行(明治時代設立)

銀行名	関与人物	設立年	消滅年(和暦)	後継銀行	現存銀行
第百三十国立銀行	松本重太郎	1878年 明治11年	大正12年 救済合併	保善銀行 (安田)	みずほ
第三十二国立銀行(浪速銀行)	平瀬亀之助 (平瀬露香)	1878年 明治11年	大正9年合併	十五銀行 その後 帝国銀行	三井住友
第四十二国立銀行	田中市兵衛	1878年 明治11年	明治34年 解散	—	—
第五十一国立銀行	寺田甚与茂	1878年 明治11年	昭和15年 合併	阪南銀行	三井住友
大阪貯蓄銀行	外山脩造 鴻池山口家	1890年 明治23年	昭和20年 国策合併	日本貯蓄 銀行(協和)	りそな
近江銀行	伊藤忠兵衛 他 近江商人	1894年 明治27年	昭和3年 営業譲渡	昭和銀行 その後 安田銀行	みずほ
北浜銀行(接陽銀行)	岩下清周	1897年 明治30年	大正15年 合併	三十四銀行	三菱東京 U FJ

提案①

広岡浅子をイメージした彫刻を、大阪企業家ミュージアム前に設置する(制作は流政之氏に依頼)  
流政之氏は、大同生命設立功労者 中川小十郎の子息  
彫刻名はあさちゃんとする(私案)

提案②

銀行跡地の公開空地表示板を有効活用する

公開空地表示板の横に、写真付説明のあるパネルを設置  
(現状跡地の説明なし)

提案③

銀行跡地巡りのマップ作成

詳細は別紙を参照

# 「平成版」大阪天神めぐり」選定

高木 昌之

## 【目的】

“天神様”こと菅原道真公最大の強みは、現代においても老若男女を問わず幅広く支持されていることである。特に大阪では、“天神さん”として親しまれ、日本三大祭のひとつ「天神祭」が盛大に執り行われている。この信仰パワーを、祭礼だけにとどまらず、観光業、交通業等の発展にまで波及させられないものかと考えていたところ、大阪にかつて天神社を巡る風習があったことを知った。そこで、波及させる手法のひとつとして、「大阪天神めぐり」を“平成版”にアレンジして復興させることを発想した。

巡礼としては、近年では、京都で2012年（平成24年）に「京都十二薬師霊場会」が復興し、大阪でも2011年（平成23年）に宗祖法然上人800年大遠忌記念事業の一環として「大阪新四十八願所阿弥陀巡礼」が復興しており、この流れを生かしたい。

## 【内容】

大阪にかつて存在していた天神めぐりの巡拝パターンを確認し、そこに挙げられた各天神社のその後の変遷と現状を調査する。その上で、それらの中から今回改めて「“平成版”大阪天神めぐり」二十五社を選定する。なお、“二十五”は、菅原道真公が845年（承和12年）6月25日に誕生され903年（延喜3年）2月25日に薨去されたことなどから、天神信仰ゆかりの数字とされている。

選定にあたっては、歴史的事実をできる限り尊重することで、恣意的な要素を排除し客観性を持たせる。これは、「“平成版”大阪天神めぐり」の正当性を確保するとともに、歴史的な重み、楽しみを付加するためである。また、公共交通機関利用を前提とするルート設定を行い、その利用促進にも寄与できるよう配慮する。

## 【結果】

大阪の天神めぐりとしては、過去に地誌等に6回の記載が見受けられ、その巡拝パターンは、江戸時代中～後期に2つ、昭和時代初期に1つ、存在していたことが確認された。そこで、この3つの巡拝パターンに挙げられた天神社を全てリストアップし、重複を除いた37社寺を対象に現地調査を行った。

石碑を残すだけになってしまったものもあったが、幸いにも痕跡が完全に失われてしまったところはなかった。但し、肝心の天神社が消滅してしまっている社寺は多く、最終的に現在でも天神巡拝が可能と判断できた25社寺を、「“平成版”大阪天神めぐり」二十五社に選定した。

今回の研究が呼び水となり、改めて“天神さん”が注目され、「大阪天神めぐり」が復興することを期待したい。



## 1. 大阪における天神めぐりの存在

大阪の天神めぐりの歴史を地誌等で辿ると、下表のとおり6回の記載が確認された。巡拝パターンは3つに分類され、それぞれ登場した最初の年号により「延享」「明和」「昭和」と名付けることにする。

なお、『大坂寺社順拝記』と『安永版難波丸綱目』は、全く同じ版を使用している。また、『大阪史蹟辞典』の巡拝先は、『郷土研究上方』と一致していることなどから、ほぼこれを引用したものと推察される。ちなみに、この「昭和」の巡拝パターンは、風習として定着していたものというよりは、“一時的な復活への試み”という色彩が強い。

大阪天神めぐり記載状況一覧

巡拝パターン	年	書名	天神めぐり
延享	1749年(延享4年)	『浪花寺社巡』	天神廿五社廻
明和	1772年(明和9年)	『大坂寺社順拝記』	天満宮廿五社
	1777年(安永6年)	『安永版難波丸綱目』	天満宮廿五社
	1841年(天保8年)	『難波巡覧記』	天満天神宮順拝
昭和	1932年(昭和7年)	『郷土研究上方』	新撰天神廿五社巡り
	1986年(昭和61年)	『大阪史蹟辞典』	大阪天神めぐり

## 2. 「平成版」大阪天神めぐり」二十五社の設定

### (1) 37社寺の現状調査

「平成版」大阪天神めぐり」二十五社の設定にあたっては、まず3つの巡拝パターンに登場した天神社全ての現状を調査しなければならない。対象は、重複を除いても37社寺に上った。

福島天満宮行宮(旧天満宮中之社)のように社殿は失われ石碑のみとなっていたり、露天神社末社難波神明社(夕日神明社)のように別の神社の末社となっていたりするものはあったが、幸いなことに37社寺全てで痕跡は残されていた。

ただ、近代に入って大阪の天神社を襲った2つの大きな災難、明治期の神社合祀政策と第二次世界大戦の空襲による被害はあまりに甚大であった。特に空襲の影響は大きく、全体の68%にあたる25社寺が被害を受け、うち10社寺において天神社は失われたままで復活していなかった。

一方で、西成区の法祐寺で、かつて中央区千日前にあった頃の阪町天神の遺物らしき神像が残されていることが判明したり、北区の天徳寺で、戦災で失われた白髭天神社が今世紀に入って復活したことが確認されたりするなど、明るい発見もあった。



本邦初公開の法祐寺所蔵伝菅原道真像

### (2) 二十五社の選定

37社寺の現状調査に基づき、「平成版」大阪天神めぐり」二十五社の選定を行った。選定にあたっては、“巡拝”という趣旨を重視し、以下の3条件全てを満たすことを必須とした。

- ① 巡拝対象となる天神社が存在すること。 →対象外10社寺
- ② 通常、境内が開放されていること。 →対象外2寺
- ③ 将来の朱印対応を考慮し有人であること。 →対象外2社

対象外は、単純合計では14社寺であるが、2社寺に重複があるため、実際には12社寺である。結果、3条件全てを満たしたのは25社寺となり、これらの天神社を「平成版」大阪天神めぐり」二十五社とした。

### (3) 巡拝順の決定

巡拝順の決定にあたっては、最重要視される第1番(発願社)、第25番(結願社)だけを決め、その他については、利便性と経済性を考慮し、大阪市交通局1日乗車券「エンジョイエコカード」の利用を想定して、地下鉄、市バスの利用を前提としてつないだ。

第1番については、3つの巡拝パターン全てで一致していたので大阪天満宮に固定した。一方、第25番については、「延享」「昭和」では生根神社(住吉区)、「明和」では神明神社(当時は中央区、現在は大正区)と割れたが、神明神社の場所が当時とは異なることや巡拝経路の効率性を鑑み、生根神社(住吉区)とした。



(4) 設定手順と結果のまとめ

上記の設定手順と結果を一表にまとめると下表の通りとなる。

「平成版」大阪天神めぐり」二十五社 一覧

巡拝順	巡拝社寺	菅原道真公祭祀	所在地	戦災被害	朱印	巡拝順		
						延享	明和	昭和
1	大阪天満宮 [天満の天神さん]	本殿	北区天神橋 2-1-8	なし	可	1	1	1
2	寶珠院 [天満寺]	鎮守社	北区与力町 1-2	あり	可		2	2
3	天徳寺 [白髭天神]	鎮守社	北区与力町 2-1	あり	可	2	3	
4	綱敷天神社 [喜多埜天神]	本殿	北区神山町 9-11	あり	可	3	4	3
5	綱敷天神社御旅社	本殿	北区茶屋町 12-5	なし	可	4	5	
6	露天神社 [お初天神]	本殿	北区曾根崎 2-5-4	あり	可	7	8	4
7	福島天満宮 [上の天神]	本殿	福島区福島 2-8-1	なし	可	8	9	5
8	天神社 [下の天神]	本殿	福島区玉川 1-4-5	なし	可	10	11	7
9	朝日神明社	本殿	此花区春日出中 1-6-21	あり	可	16	22	
10	天満宮 [三先天満宮]	本殿	港区三先 1-5-40	なし	可			10
11	神明神社 [日中神明宮]	境内社	大正区鶴町 2-7-29	あり	可	17	25	
12	八坂神社 [上のやさかさん]	境内社	大正区三軒家東 2-7-18	あり	可			11
13	御霊神社	境内社	中央区淡路町 4-4-3	あり	可	13	24	
14	坐摩神社 [ざま神社]	境内社	中央区久太郎町 4 渡辺 3	あり	可	14	23	
15	天然寺 [おちつき天神]	鎮守社	天王寺区城南寺町 4-5	あり	不可			18
16	生國魂神社 [生玉さん]	境内社	天王寺区生玉町 13-9	あり	可	21	18	16
17	法泉寺 [潮待天神]	鎮守社	天王寺区生玉寺町 1-26	あり	不可	22	17	
18	安井神社 [安居天満宮]	本殿	天王寺区逢坂 1-3-24	あり	可	23	16	14
19	五條宮	境内社	天王寺区真法院町 24-9	なし	可			15
20	御幸森天神宮 [しあわせの森]	境内社	生野区桃谷 3-10-5	なし	可			20
21	田島神社	本殿	生野区田島 3-5-34	なし	可			21
22	天神社 [桑津天神社]	本殿	東住吉区桑津 3-4-17	なし	可			22
23	天満宮 [天神ノ森天満宮]	本殿	西成区岸里東 2-3-19	なし	可	24		23
24	生根神社 [上の天神]	本殿	西成区玉出西 2-1-10	あり	可			24
25	生根神社 [奥の天神]	境内社	住吉区住吉 2-3-15	なし	可	25		25
	圓通院	なし	北区兎我野町 7-8	あり	非公開	5	7	
	露天神社末社難波神明社 [夕日神明社]	なし	北区曾根崎 2-5-4	あり	可	6	6	
	福島天満宮行宮 [中の天神跡地]	社殿無	福島区福島 4-1	あり	無人	9	10	6
	茨住吉神社	なし	西区九条 1-1-17	あり	可	11	13	8
	大阪天満宮行宮	行宮	西区千代崎 2-21	あり	無人	12	12	9
	御津宮 [御津八幡宮]	なし	中央区西心斎橋 2-10-7	あり	可	15	14	
	玉造稲荷神社 [玉造神社]	なし	中央区玉造 2-3-8	あり	可	18	21	19
	三光神社	なし	天王寺区玉造本町 14-90	あり	可	19	20	
	高津宮	なし	中央区高津 1-1-29	あり	可	20	19	17
	法祐寺 [阪町天神]	鎮守社	西成区旭 3-4-9	なし	非公開		15	
	難波八阪神社 [なんばの八阪さん]	なし	浪速区元町 2-9-19	あり	可			12
	敷津松之宮 [木津の大国さん]	なし	浪速区敷津西 1-2-12	あり	可			13

(注) 巡拝順の色分けは、3日で廻る場合の目安 (赤: 1日目、緑: 2日目、青: 3日目) を示す。

## (5) 巡拝図

「平成版」大阪天神めぐり二十五社の位置は下図の通りであり、巡拝に要する日数の目安は3日である。

「平成版」大阪天神めぐり二十五社 巡拝図



25 : 巡拝順 (赤 : 1 日目、緑 : 2 日目、青 : 3 日目)

(OpenStreetMap を使用)

### ◆参考文献等

- 三善貞司編 (1986) 『大阪史蹟辞典』 清文堂出版、野間光辰鑑修 (1977) 『校本難波丸綱目』 中尾松泉堂書店、上方郷土研究会編 (1932) 『郷土研究上方第十五号』 創元社、田中智彦著 (2004) 『聖地を巡る人と道』 岩田書院、大阪府神社庁 (1986) 『大阪府神社史資料 復刻』、神社と神道研究会編 (2004) 『菅原道真事典』 勉誠出版、川端直正編 (1968) 『西成区史』 西成区市域編入四〇周年記念事業委員会、近江春子編 (2010) 『大阪天満宮 天神祭と流鏝馬式史料』 関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター、大阪市産業部 (1936) 『大大阪観光地図』 国際日本文化研究センター所蔵、昭文社 (2015) 『街の達人 大阪便利情報地図』、各社寺案内板・由緒書等
- Web (2015/12/13 アクセス)
- 北区魅力発信サポーター「つひまぶ」公式ブログ〈[http://tshimabu.blogspot.jp/2015/05/blog-post\\_21.html](http://tshimabu.blogspot.jp/2015/05/blog-post_21.html)〉、大阪府「大阪府知事が所轄している宗教法人名簿」〈<http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/14/00000000/meibo20150331.pdf>〉、大阪府神社庁「大阪府内神社の紹介」〈<http://www.jinjacho-osaka.net/osakafunai-no-jinjya/osakajinjyama.html>〉、瀬藤禎祥「神奈備の大阪府神社名鑑」〈<http://kannavi.jp/ichiranosaka.htm>〉、はなしの名どころ「中央区その2」〈<http://homepage3.nifty.com/nadokoro/nadokoro/55-2/55chuo2.htm>〉、網敷天神社「網敷天神社」〈<http://www.tunashiki.com/>〉、福島天満宮「福島天満宮ホームページ」〈<http://www.tenmangu.com/info.htm>〉、大阪市交通局「地下鉄・バスのご案内」〈<http://www.kotsu.city.osaka.lg.jp/general/eigyau.html>〉、京都十二薬師霊場会「京都十二薬師霊場会」〈<http://www.kyoto12yakuishi.net/>〉、宗教法人浄土宗「大阪新四十八願所阿弥陀巡礼 (大阪府)」〈<http://jodo.jp/25rei/ijo/osaka.html>〉

# 大阪三十三ヶ所絵馬めぐり

村田 幸雄

## 【目的】

社寺参詣の折、絵馬掛けに様々な絵柄の絵馬を目にすることがある。絵馬に願い事を書いて神仏に奉納する時以外には、あまり注目することはないが、よく見ると、絵柄は、シンプルでバラエティに富んでおり、興味深い存在である。

人々の神仏への願い事は様々で、願い事を表現した絵馬の絵柄は多種多様である。江戸時代からの絵柄を引継いでいるもの、現代の世相を反映したもの、各社寺のご利益を表現したもの、中には著名な絵師が描いた絵馬もある。そこで大阪の絵馬を三十三ヶ所選定し、「大阪三十三ヶ所絵馬めぐり」として大阪の魅力的な絵馬を紹介したい。

## 【内容】

大阪府下の数多くの社寺の絵馬から、特に魅力的な絵馬を、独断と偏見で三十三ヶ所を選定し、以下の分類で整理した。

### ①現代の世相を反映した絵馬

人々の願い事は時代とともに変化する。絵馬はその時代を生きた人々の願いを表現している。そこで、外国人観光客、ペット、アイドル、インターネット、アニメ・萌、ちょい足しで独自性を、イベントへの活用、個人情報保護の8つのキーワードで現代の世相を反映した絵馬を紹介。

### ②絵柄の面白い絵馬

絵馬は限られたスペースの中に、人々の願い事を一目で判るように表現している。シンプルで機知に富んだ絵柄の絵馬を紹介。

### ③ご利益があるといわれている社寺の絵馬

各社寺のご利益を、簡潔な絵柄で表現した絵馬を紹介。

学業・合格、恋愛・縁結び、子育て、出世開運、商売繁盛、無病息災、悪縁切り、芸能上達、厄除け、方除け、雷除け、痔病平癒、技芸上達等々。

### ④著名な絵師の描いた絵馬

生田花朝、5代目長谷川貞信の描いた絵馬を紹介。

## 【結果】

「大阪の絵馬めぐり」の参考資料として、「大阪三十三ヶ所絵馬めぐり図」、「大阪三十三ヶ所絵馬めぐり、所在地図」（付属資料を参照）を、各絵馬の由来、各社寺のご利益を併せて一覧表にまとめた。

今回は、「小絵馬」を中心に、大阪の絵馬についてまとめたが、神社の絵馬堂等に飾られた「大絵馬」については、今後の課題としたい。



## 1、はじめに

絵馬は、願い事を神仏に届けるために奉納される。人々の願い事は様々で、絵馬の絵柄も多種多様である。素朴で、ユーモラスで、多彩、中に著名な絵師が描いたものもある。そこで、大阪の魅力的な絵馬を三十三ヶ所選定し、以下の4つの切り口で「大阪の絵馬めぐり」を紹介したい。ここでは紙面の関係上、代表的な絵馬についてのみポイントを紹介。(個々の絵馬の絵柄、由来については付属資料を参考のこと)

## 2、現代の世相を反映した絵馬めぐり

人々の神仏への願い事は、時代とともに変化する。絵馬はその時代を生きた人々の願い事を表現している。ここでは、**8つのキーワード**で、現代の世相を反映した絵馬を紹介したい。

○大阪府下への**外国人観光客**6.5百万人の時代で、絵馬の世界でも国際化が進んでいる。露天神社では英語、中国語、韓国語で書かれた絵馬の説明文が掲示されており、外国人も日本文化の一つとして絵馬に興味をもっていることがわかる。又、**⑤少彦名神社**では、祭神が中国の神農さんでもあり、中国人の参詣者も多く、中国語で書かれた祈願文の絵馬を散見出来る。

○現代は、**ペット**を飼う世帯の比率が3割を占め、生活に喜びを与えるものとして家族とペットが拮抗する時代である。**⑨御津八幡宮**には、ペットの幸せを祈願する絵馬がある。

○堺市の**⑳桜井神社**は、嵐のメンバー桜井翔と同名ということもあり、**アイドル**・嵐のコンサートチケット入手の祈願文の絵馬が多数見られる。

○**㉒能勢妙見山**のホームページには**インターネット**絵馬のサイトがある。能勢町まで出向かなくても、自宅で願い事を書き、クリックひとつで奉納し、願い事を届けることが出来る。

○祈願文の代りに**マンガやアニメ**のキャラクターを描いた絵馬は、「痛絵馬」と呼ばれている。マンガ・アニメの主人公と関係のある社寺でみられ、社会現象となっている。(b>㉑安倍晴明神社)

○祈願文だけでなく、白紙の顔に目鼻口を**ちょい足しし、独自性のある**美人顔に仕上げる美人祈願絵馬が人気を呼んでいる。(b>①露天神社)

○蕪村生誕300年(2016年)の**イベント**を盛り上げようと献句絵馬が考案され、絵馬をイベントに活用している。(b>④淀川神社)

○祈願の内容が他人に見られるのを防ぐ為に、**個人情報保護**シートを添付出来る絵馬がある。(b>京都・下鴨神社)

## 3、絵柄のおもしろい絵馬めぐり

シンプルで機知に富んだ絵柄で、願い事を表現した絵馬を紹介。

○「**㊦**」**逆さの厄**で「厄落し」を意味する。(b>㉓上宮天満宮)

○「**馬**」**左馬**馬は右から乗ると転ぶ習性があり、必ず左から乗ることから「左馬は倒れない」といわれ、「人生を大過なく過ごせる」を意味している。(b>㉔上宮天満宮)



- 八と九の間に神社の名が書かれてあり、厄を裂ける（避ける）を意味する。
- ⑩辛国神社**、他に意賀美神社、布忍神社にも同じ絵柄の絵馬がある。
- 五角形の形**をした絵馬。五角＝ゴーク＝合格の語呂合わせで合格祈願を表現している。**⑭安居天満宮**、他に、露天神社、大江神社、難波神社にも。
- 悪縁を断つことを心に誓う意志を、**心に錠を掛ける**絵柄で表現している。
- ⑪生国魂神社・鳴野神社**、他に生駒の宝山寺にも。
- シャモジの形**をした絵馬。**⑬一心寺**は本多忠朝の故事にあやかり断酒で知られている。シャモジの形をした絵馬は、戦後物資不足の折、日用品のシャモジを代用したのが定着し、現在も使われている。

#### 4、ご利益があるといわれている社寺の絵馬めぐり

江戸時代に書かれた「神仏霊験記図絵」は、大阪の69社寺のご利益を紹介しているが、69社寺の内43社寺（62%）のご利益が病氣平癒に関するものであった。当時の人々が病気に大きな関心を持っていたことがわかる。絵馬との関連では、69社寺の内15社寺で「願い事が成就した時には、御礼として絵馬を奉納すべし」と記述されている。成就のお礼としての絵馬奉納が一般的に行われていたことがわかる。一方、現代人は、初詣の時に何を祈願したのかという疑問に対し、民俗学学者・野堀正雄氏の2003年住吉大社の初詣で奉納された絵馬の祈願内容の調査によれば、26%が合格学業、22%が恋愛縁結び、12%が病氣健康に関する願い事であった。現代人の神仏への願い事の大半が合格学業と恋愛縁結びで、江戸時代とは大きく異なっていることがわかる。

以下に、ご利益があるといわれている代表的な社寺の絵馬を紹介したい。

- 合格学業** **⑮菅原神社**は定番のダルマの絵馬。**⑭安居天満宮**には五角形（ゴーク＝合格）の絵馬。
- 恋愛縁結び** **⑦玉造稻荷神社**はつがいの狐がハートの形をつくっている絵馬。**⑰住吉大社侍者社**の絵馬には蛤（蛤は上下の貝がピタッと合わさることから縁結びに縁起がいいとされてきた）が描かれている。
- 子育て（乳授け）** **⑫四天王寺布袋堂**の乳授けの絵馬の絵柄は江戸時代から現代まで続いている。昔は子供を母乳で育てていたので、母乳の出は子供の生死に係わる問題であった。
- 出世開運** **⑥豊国神社**には日本で一番出世した男＝豊臣秀吉の絵馬。
- 商売繁盛** **②堀川戎**の絵馬には鯛を釣り上げた蛭子大神が描かれている。
- 痔疾平癒** **⑰広田神社**は江戸時代から痔病に御利益があると伝えられている。広田神社の絵馬には赤エイが描かれている。赤エイの尾のトゲに刺されると激しい痛みをおぼえ、漁師は捕獲するとすぐに尾を切り取った。この痛みが痔の痛み に似ていることから、尾を切ることと、痔の痛みを断つことを掛けている。上記2つの絵馬は「神仏霊験記図絵」にも記載されている。
- 婦人病平癒** 平安時代、遊女江口が病気に罹った時、**⑲野崎観音**にお参りして病気を治したと伝えられている。爾来、婦人病や子供の欲しい人が参拝。絵馬には、野崎観音を拝む正座をした和装の女性が描かれている。

- 足の守護** 菅原道真が大宰府へ左遷される途中、痔病の脚気で、歩くけなくなった時、**㉕服部天神宮**をお参りし足の痛みが治ったと伝えられている。
- 皮膚病平癒** **㉒四天王寺石神堂**の絵馬は牛が草を喰っている絵柄である。石神堂は四天王寺創建時に石材を運んだ牛の霊を祀っている。牛が草（瘡）を喰うところから、皮膚病に御利益があると伝えられている。
- 災難除け** 桃は災難を振り払い福に転ずる果物と云われている。伊弉諾命が桃の実の精霊によって危難を逃れたという伝説から、絵馬には桃の実が描かれている。**(㉗片山神社)**
- 雷除け** 井戸に雷が落ちた時に、村人が蓋をして雷を閉じ込め、今後この地に絶対落ちないと誓わせ雷を逃がしたと言いつたと伝えられている。雷除けと耳病平癒で信仰されている。**(㉓西福寺)**
- 方除け** 豊臣秀吉は大阪城築城に際して、**㉘片埜神社**を鬼門除けの神社と定めた。絵馬には鬼門に因み鬼の面が描かれている。
- 悪縁切り** **㉑円珠庵（鎌八幡）**の境内の榎木に、真田幸村が鎌を打ち込み、祈念し大きな戦勝を得たと伝えられている。絵馬には交叉した鎌が描かれており、鎌で悪縁を断ち切ることを表している。
- 技芸上達** **㉔呉服神社**の絵馬に描かれている梭(ひ)は、機織りで使う道具。機織りが上手くなるようにとの祈願から、手芸等の技術上達で信仰。

#### 5、著名な絵師の描いた絵馬めぐり

絵馬の中には、**著名な絵師**が描いた絵馬もある。

- ㉑今宮戎神社**には**生田花朝**が描いた十日戎の宝恵駕籠の絵柄の絵馬がある。
- ㉓大阪天満宮**の休息所には、**5代目長谷川貞信**が描いた干支の大絵馬が飾られている。5代目長谷川貞信は住吉大社や道明寺天満宮の干支の絵馬も手掛けている。5代目長谷川貞信は文楽の絵師として国立文楽劇場の絵看板を描いている。
- ㉘高津宮**の絵馬堂には、絵師も役者も親子の襲名祈願絵馬が飾られている。**穂束とよ國**が描いた4代目藤十郎の、**穂束宜尚**が描いた4代目鴈治郎の襲名祈願絵馬である。穂束宜尚は、父・とよ國の死後、上方歌舞伎絵看板の絵師を引継ぎ、大阪松竹座や京都南座の絵看板を手掛けている。

#### 6. まとめ

- 以上いろいろな絵馬めぐりを紹介してきたが、神仏への祈願も兼ねて「大阪の絵馬めぐり」を推奨したい。
- 現在、御朱印集めがブームとなっているが、絵馬の絵柄は、素朴で、ユーモラスで多彩。絵馬収集もおすすめ。
- 大阪府への外国人観光客が6.5百万人の時代。日本文化の一端として絵馬に興味を持つ外国人も多い。外国語での絵馬の説明板の設置が必要。

(参考文献) 浪速叢書 鶏肋 「神仏霊験記図絵」

民具研究140号 「現代奉納小絵馬にみる祈願の変容」 野堀正雄



## 大阪府立大学 21 世紀科学研究機構とは・・・

大阪府立大学「21 世紀科学研究機構」は、学部(学域)・研究科の枠を超えた学際的あるいは分野横断型研究を進める「21 世紀科学研究所」群で構成する研究組織で、本学の研究活動の一層の活性化を図ることを目的として設立されました。

この機構は、柔軟性と組織性を併せ持つ 3 つの研究所群(2016 年 3 月現在 49 研究所)で構成し、地域に貢献する拠点大学としての役割と府民・府政のシンクタンク機能も担える組織として、本学の教育・研究の展開に新たな息吹を吹き込む存在として位置づけられています。

## 観光産業戦略研究所 (所長：橋爪紳也教授)

経済成長が顕著なアジア全域において、観光が地域の重要な産業となりつつあります。LCC の普及や世界的なクルーズ事業の進展もあり、新たな旅のありかたが示されつつあります。いっぽうで、ヘルス・ツーリズム、コミュニティ・ツーリズム、ヘリテイジ・ツーリズム、ボランティア・ツーリズム、美食ツーリズムなど、いわゆるニューツーリズムの動向も注目されています。また世界的な統合型リゾートの流行やコンベンションビジネスの発展、ハイエンド層を対象とした事業展開など、観光客の受け入れを前提とした地域づくりや都市開発が各地ですすめられています。観光産業戦略研究所では、このような世界の動向を見据えつつ「人が自由に移動する社会」を肯定、観光学の理論的研究の深化とともに、都市型観光に関する政策提案と地域づくりの実践を重ねています。

## なにわなんでも大阪検定について

なにわなんでも大阪検定は、大阪が持つ歴史・文化の奥深さを再発見し、多様な大阪の魅力を知っていただくことを目的とした試験です。検定試験に関連し、歴史や文化に直接触れるまち歩きや講座などを開催し、楽しみながら大阪を学んでいただくことができます。

大阪府立大学21世紀科学研究機構大阪検定客員研究員制度は、この大阪検定の最難関である1級に合格された方の知見を大阪の都市魅力向上に役立ててもらうため、大阪府立大学との提携により平成25年度より創設され、今年度までに延べ36名の研究員が担当教官である橋爪紳也教授（大阪府立大学21世紀科学研究機構・観光産業戦略研究所所長）の助言を得ながら「大阪の観光」および「大阪の観光産業」に資する研究に取り組んでまいりました。

大阪商工会議所は、これらの研究をより広く社会に還元し、「大阪の観光」および「大阪の観光産業」の一層の魅力向上に努めてまいります。また、企業・団体の研修等の機会を活用し、大阪検定合格者を講師にした大阪に関する講座・セミナー・まち歩きの開催を支援しておりますので、ご関心の方は下記問合せまでご一報ください。

大阪商工会議所は、“なにわなんでも大阪検定”を通じて、大阪を知り愛する運動を推進し、大阪の都市ブランド向上を目指します。

問合せ：大阪商工会議所地域振興部

TEL 06-6944-6323

Mail [chishin@osaka.cci.or.jp](mailto:chishin@osaka.cci.or.jp)

<http://www.osaka-kentei.jp/>



なにわなんでも<sup>®</sup>  
**大阪検定**